AI Psychometrics Inc.

Titan AI™

コンピテンシー習熟度レポート

適応型会話評価・個人

記録されたシナリオの根拠と別々の記述的コンピテンシースコア。比較データは利用できません。

評価 レポート

26のシナリオバンクのうち25が実施されました・110ページのレポート

自由記述 + フォローアッププローブ
コンピテンシーごとの記述的スコア
ランキングなし・合成なし
利用不可のフィールドは表示されたままです

01 エグゼクティブサマリー
02 30秒の要約
03 コンピテンシー習熟度プロファイル
04 コンピテンシー詳細分析 1
05 コンピテンシー詳細分析 2
06 会話の根拠
07 応答要旨ボード1
08 応答要旨ボード2
09 回答の質・4つの特性
10 深さ・一貫性
11 フォローアッププローブ分析
12 適応型パス
13 深さの精度
14 強み・開発
15 コホート内の位置
16 面接・オンボーディングガイド
17 面接キット
18 開発計画 30/60/90
19 キャンペーン比較・注意

このレポートを確認
AIP-R-FGRE-6SVQ
ソース改訂 1

AI Psychometrics Inc.

Titan AI™ · 個別レポート

適応型シナリオ · 26シナリオバンク

個別レポートのソース

評価 レポート · ソース改訂 1

コンピテンシー帯域は各コンピテンシー事後区間からの90%区間です。根拠の評価は割り当てられていません。記録された実行では26のシナリオバンクのうち25が実施されました。

シナリオカバレッジ

完了したシナリオ	26のシナリオバンクのうち25が実施されました

初回読み

5つの個別の記述的なコンピテンシースコアがプロフィールに表示されます。応答のナラティブと引用は、記録・承認されたソーステキストがある場合にのみ表示されます。

読み取りパス

01 概要とインタビューの焦点 p. 4
02 候補者比較根拠 p. 18
03 5つの記述的なコンピテンシー行 p. 28
04 マスクされた回答根拠 p. 45
05 面接質問と記録 p. 95
06 キャンペーン比較と測定 p. 107

エグゼクティブサマリー 観察済み 記述的

面接準備の要点。すべてのコンピテンシーの記述スコアは同じです。このスコアから相対的な強みや弱みは判断できません。

コミュニケーション	オーナーシップと責任	問題解決	コラボレーション	適応力
25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
観察15	観察15	観察15	観察15	観察15

シナリオ	後続質問	選択確認	最終誤差SE	ヒューリスティック採点
25	72	0	0.241	0
SE 目標で中断 (最小 5, 最大 27)	2.9／シナリオ	答えが曖昧な場合のみ	0.30目標充足	実施した25シナリオ中

知っておくべき4つのこと

- 承認された能力の数は5です。
- 実施されたシナリオの数は25です。
- シナリオバンクのサイズは26です。
- 比較可能なパフォーマンスの集計はありません。

30分間の面接計画

0–5′	候補者が以前のプロジェクトで直面した課題について教えてください。
5–15′	候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？
15–23′	候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？

時間は根拠が最も薄いところから始まります。

このレポートが示す内容

候補者が自分の言葉でどのように職務状況を処理したか、各コンピテンシーにどれだけの根拠があるか、面接で何を確認すべきか。

証拠台帳

何	証拠
コンピテンシースコア	バンク内シナリオ数 26件中 25件から採点された回答・コンピテンシーあたりの観察 15–15回
代表発言	候補者原文抜粋（マスキング済み）
比較	この実行には提供されていません

25シナリオ・有効性とコホート平均

この受検には検証済みコホート参照集団が接続されていないため、比較を表示しません。集団が接続されると、このパネルにその集団内での候補者の位置を表示します。

点の色＝コンピテンシー・ステム＝コホート平均からの距離（破線）・小さな点＝プローブ・◆＝アンカーチェック

判定ではありません | 合成なし | ランクなし | 1観察＝参照のみ | 性格や感情の推測なし

全体的な有効性の概要

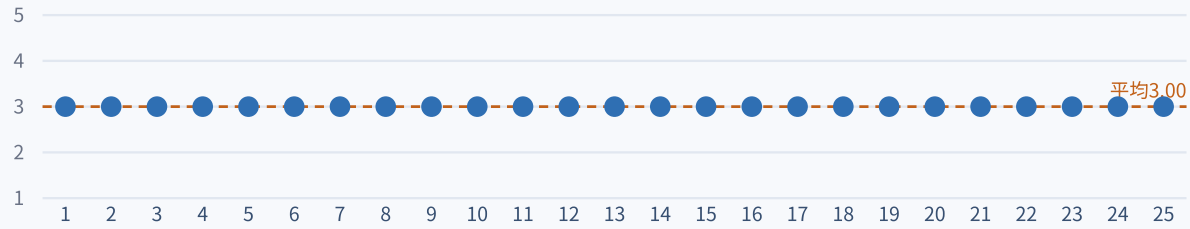
このゲージはエンジンが実施した生成回答効果性評価25件（1–5）の平均です。この実行の記述的要約であり、コンピテンシースコア、較正済み測定値、採用判断ではありません。

平均効果評価



読み方。 針は入力尺度1〜5で実施された評価25件の算術平均(3.00)を指します。尺度に合格線はなく、シナリオが異なれば質問も異なります。

実施されたシナリオごとの評価



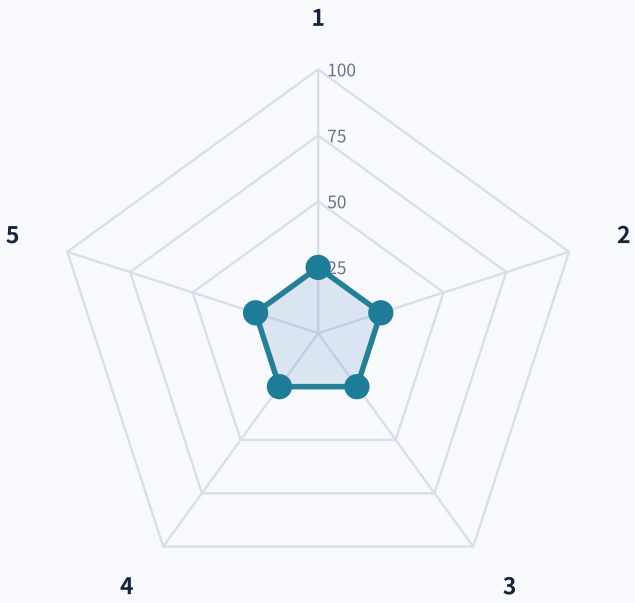
1 = S01 · 2 = S03 · 3 = S05 · 4 = S06 · 5 = S07 · 6 = S08 · 7 = S09 · 8 = S10 · 9 = S11 · 10 = S12 · 11 = S13 · 12 = S14 · 13 = S15 · 14 = S16 · 15 = S17 · 16 = S18 · 17 = S19 · 18 = S20 · 19 = S04 · 20 = S21 · 21 = S22 · 22 = S23 · 23 = S24 · 24 = S25 · 25 = S26

読み方。 点は実施順（1〜25）に並び、その下にシナリオIDを示します。破線は平均値です。未実施のシナリオには評価値がありません。

コンピテンシープロファイルレーダー

記述的な生成回答スコアは0から100のスケールです。淡いバーは各コンピテンシーの事後区間からの90%バンドであり、校正された区間ではありません。観察が1つのコンピテンシーは参照のみであり、多角形には含まれません。

コンピテンシープロファイル



読み方。 軸は下の番号付き一覧に対応し、目盛りの環は25、50、75、100を示します。塗りつぶした多角形は、観察が2回以上ある5つのコンピテンシーを結びます。この図はプロファイルの形を示すもので、順位ではありません。

軸	コンピテンシー	スコア	90%帯	観察
1	コミュニケーション	25.00	25.0–25.0	15
2	オーナーシップと責任	25.00	25.0–25.0	15
3	問題解決	25.00	25.0–25.0	15
4	コラボレーション	25.00	25.0–25.0	15
5	適応力	25.00	25.0–25.0	15

エグゼクティブサマリー / 1

面接前にご確認ください

記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。

記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。

候補者の問題解決アプローチを確認してください。

回答データ	生成された25件のシナリオ回答のうち、0件が4点または5点と評価されました。アンカー確認は0回でした。

30分間の面接計画

タイミングは面接官のワークフローの提案であり、検証された予測や自動化された採用推奨ではありません。独立した根拠は別途記録してください。

0–5分	問題解決
5–15分	コミュニケーション
15–23分	コラボレーション
23–28分	オーナーシップと責任
28–30分	適応力

証拠に含まれるもの

コンピテンシーの記述スコアは、バンク内の26シナリオのうち、実施した25シナリオへの生成回答に基づいています。各コンピテンシーの観察数は15件です。この雇用主向けレポートでは、会話の原文をマスキングしています。

エグゼクティブサマリー / 2

コンピテンシー区間は各コンピテンシーの事後分布から得た90%区間です。観察が1回のみの場合は参考値とし、区間は表示しません。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンク内は26シナリオです。25シナリオ後、SEの目標0.30を満たして終了しました。

スコア、観察および90%バンド

コミュニケーション 記述スコア	25.00
コミュニケーション 観察	15
コミュニケーション 90%区間下限	25.00
コミュニケーション 90%区間上限	25.00
オーナーシップと責任 記述スコア	25.00
オーナーシップと責任 観察	15
オーナーシップと責任 90%区間下限	25.00
オーナーシップと責任 90%区間上限	25.00
問題解決 記述スコア	25.00
問題解決 観察	15
問題解決 90%区間下限	25.00
問題解決 90%区間上限	25.00

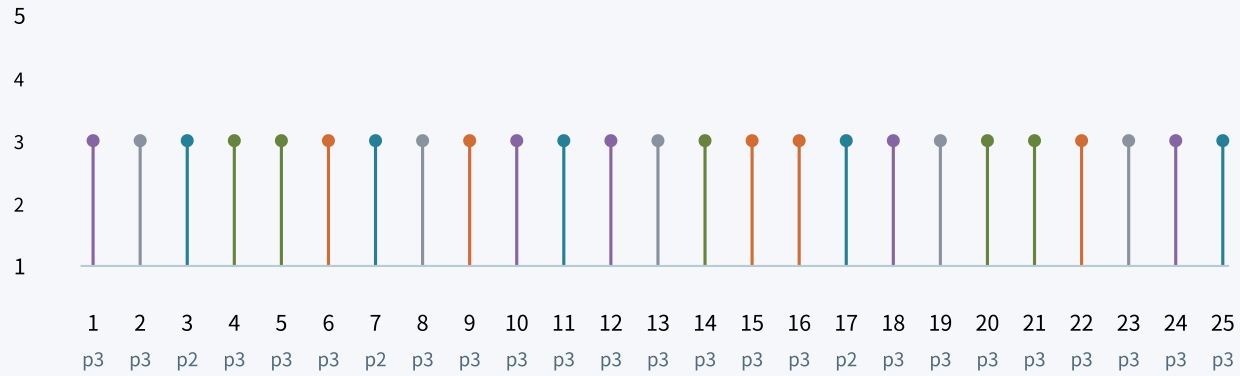
スコア、観察および90%バンド・続き

コラボレーション 記述スコア	25.00
コラボレーション 観察	15
コラボレーション 90%区間下限	25.00
コラボレーション 90%区間上限	25.00
適応力 記述スコア	25.00
適応力 観察	15
適応力 90%区間下限	25.00
適応力 90%区間上限	25.00
後続質問	72
アンカー確認	0
全体θの標準誤差SE	0.241

エグゼクティブサマリー / 3

実施されたシナリオ評価25件と出典キー

コミュニケーション　オーナーシップと責任　問題解決　コラボレーション　適応力



1 = S01 · 2 = S03 · 3 = S05 · 4 = S06 · 5 = S07 · 6 = S08 · 7 = S09 · 8 = S10 · 9 = S11 · 10 = S12 · 11 = S13 · 12 = S14 · 13 = S15 · 14 = S16 · 15 = S17 · 16 = S18 · 17 = S19 · 18 = S20 · 19 = S04 · 20 = S21 · 21 = S22 · 22 = S23 · 23 = S24 · 24 = S25 · 25 = S26

色付きの点: この生成回答（1–5）。◆ 選択確認; p = 追跡質問回数。色はコンピテンシーを区別するだけで能力を意味しません。記述的なセッション記録であり、順位や採用判定ではありません。

シナリオ追跡: 評価、後続質問、選択確認

1-5効果性評価は生成された回答1つを記述します。

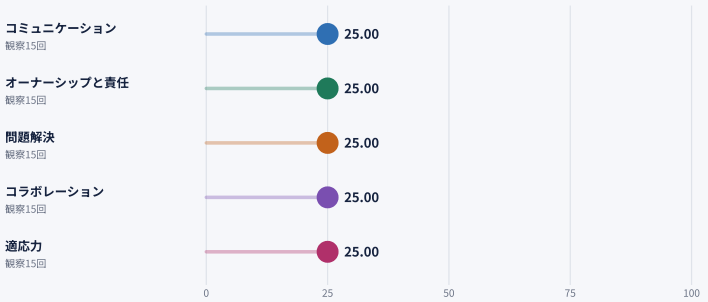
今回の実行にはコホート比較を使用できないため、この候補者の記録された評価のみを表示します。このセッションで実施されていません:S02. ◆は選択確認です。

ID	コンピテンシー	1–5	評価	コホート平均 (n)	後続質問	選択確認
S01	適応力		3	n/a	3	
S03	コラボレーション		3	n/a	3	
S05	コミュニケーション		3	n/a	2	
S06	問題解決		3	n/a	3	
S07	問題解決		3	n/a	3	
S08	オーナーシップと責任		3	n/a	3	
S09	コミュニケーション		3	n/a	2	
S10	コラボレーション		3	n/a	3	
S11	オーナーシップと責任		3	n/a	3	
S12	適応力		3	n/a	3	
S13	コミュニケーション		3	n/a	3	
S14	適応力		3	n/a	3	
S15	コラボレーション		3	n/a	3	
S16	問題解決		3	n/a	3	
S17	オーナーシップと責任		3	n/a	3	
S18	オーナーシップと責任		3	n/a	3	
S19	コミュニケーション		3	n/a	2	
S20	適応力		3	n/a	3	
S04	コラボレーション		3	n/a	3	
S21	問題解決		3	n/a	3	
S22	問題解決		3	n/a	3	
S23	オーナーシップと責任		3	n/a	3	
S24	コラボレーション		3	n/a	3	
S25	適応力		3	n/a	3	
S26	コミュニケーション		3	n/a	3	

最初の画面 · 30秒要約

問題解決の観察数は15です。

コンピテンシー別習熟度（0–100、記述的）



点 = 候補者のスコア · 中空の点 = 観察が2未満（参考のみ）

記録された記述スコア

オーナーシップと責任：記述スコアは25.00/100、観察数は15件です。 コミュニケーション：記述スコアは25.00/100、観察数は15件です。 コラボレーション：記述スコアは25.00/100、観察数は15件です。

面接で確認する点

すべてのコンピテンシーの記述スコアは25.00/100で同点です。最低のコンピテンシーは特定できません。独立した根拠で回答内容を確認してください。

まだ根拠が不足している箇所

すべてのコンピテンシーがこの実行で2回以上観察されました。

シナリオ	コンピテンシーカバレッジ	最終誤差SE	後続質問	根拠に基づく
25	5/5	0.241	72	26件中 25シナリオ
SE 目標で中断	すべて2回以上観察されました	0.30目標達成	回答を掘り下げる追加質問	15–15コンピテンシー当たり観察

記録された記述スコア

オーナーシップと責任：記述スコアは25.00/100、観察数は15件です。 コミュニケーション：記述スコアは25.00/100、観察数は15件です。 コラボレーション：記述スコアは25.00/100、観察数は15件です。

役割適合性の概要（ナラティブ）

回答では、候補者は以前のプロジェクトで直面した課題を整理し、関係者を集めて事実を整理したと述べています。

合成スコアなし　ランキングなし　人々が決定を下します

証拠に基づく・判決ではありません

30秒で読む要約・続き

観察された対話25件を一覧表示（全体1–5、色はコンピテンシーを示す）



インタビューの前に

問題解決
コミュニケーション
コラボレーション
オーナーシップと責任
適応力

面接にて

候補者が以前のプロジェクトで直面した課題について教えてください。
その課題に対してどのようにアプローチしましたか？
候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？
その行動の結果はどうでしたか？
候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？
その要素はどのように影響しますか？
候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？
その行動の結果はどうでしたか？
候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？
その要素はどのように影響しますか？

採用された場合

候補者の問題解決アプローチを確認してください。
候補者のコミュニケーションスキルを確認してください。
候補者の意思決定プロセスを確認してください。
候補者のオーナーシップと責任を確認してください。
候補者の適応力を確認してください。

最初の画面

コンピテンシー区間は各コンピテンシーの事後分布から得た90%区間です。観察が1回のみの場合は参考値とし、区間は表示しません。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンク内は26シナリオです。25シナリオ後、SEの目標0.30を満たして終了しました。

5コンピテンシーの記述スコア一覧

コミュニケーション: 25.00

オーナーシップと責任: 25.00

問題解決: 25.00

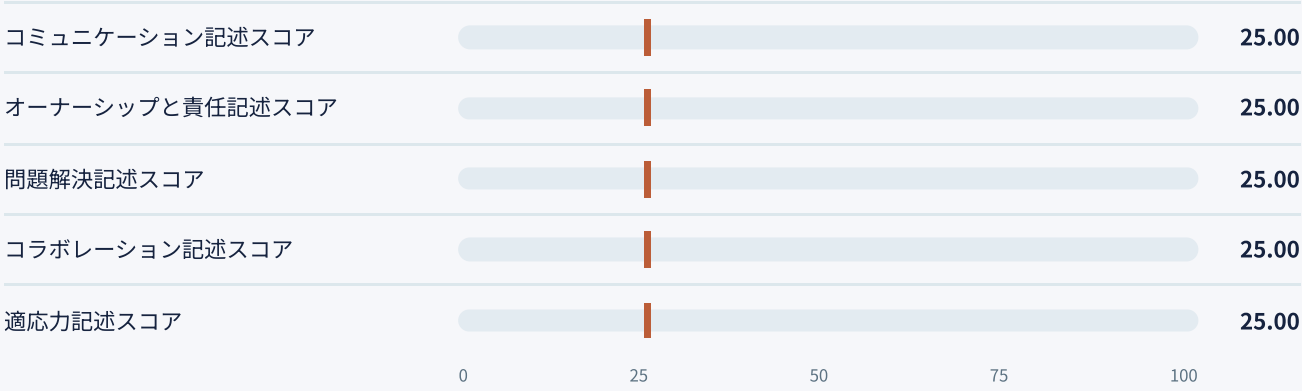
コラボレーション: 25.00

適応力: 25.00

これらのパターンを読み取り、確認します

比較対象となる5つのコンピテンシーの記述スコアは、すべて同じ値（25.00/100）です。これらのスコアから相対的な強み・弱みを区別することはできません。

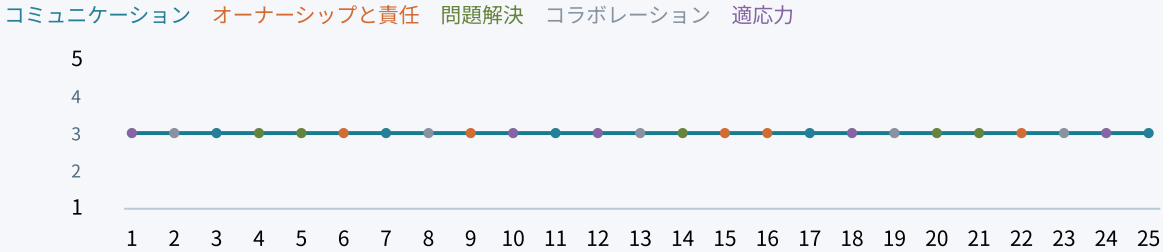
ケーススコア、90%バンドおよび同サンプル参照



生成回答に対する記述スコアです。

オレンジ: ケーススコア。青緑: 該当コンピテンシー固有の事後分布から求めた90%区間で、補正された値ではありません。 今回の実行には同一サンプル参照線がありません。

25 シナリオ評価とコンピテンシーおよびアンカーキー

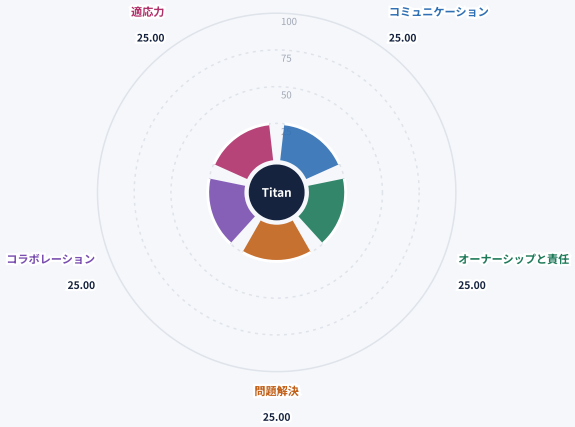


色はコンピテンシーを区別するだけで能力を意味しません。ダイヤモンドは実施されたアンカー0個を表示します。各点は生成回答観察値(1–5)一つで、バンク位置順であり、実施されたシナリオのみ含みます。接続線は補正されたトレンドではありません。

コンピテンシー習熟度プロファイル · V3 観察済み 記述的

5コンピテンシーの記述スコアはすべて25.00/100です。相対的な強み・弱みは区別できません。

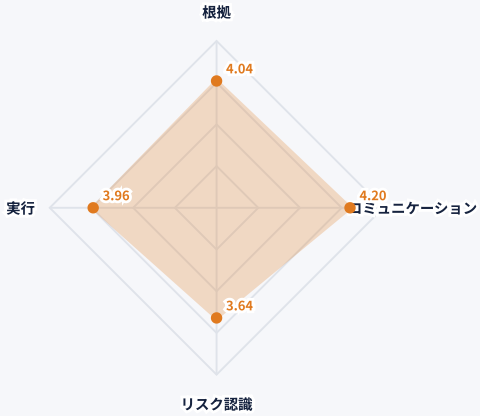
コンピテンシー星座



色付きのアーク = この候補者の記録されたスコア; この実行ではコホート比較は利用できません; コンピテンシーごとに1つのアーク

円弧 = スコア。今回の実行にはコホート参照値を使用できません。

特性レーダー・候補者 vs コホート



オレンジ = この候補者のシナリオ平均。今回の実行にはコホート平均線を使用できません。

ダンベル・候補者のスコア ↔ コホート中央値

この受検には検証済みコホート参照集団が接続されていないため、比較を表示しません。集団が接続されると、このパネルにその集団内での候補者の位置を表示します。

色付きの点 = 候補者。今回の実行にはコホート中央値と中央50%参考値を使用できません。

コンピテンシー × 特性ヒートマップ

	根拠	コミュニケーション	リスク認識	実行
コミュニケーション · 観察 15	4.00	4.20	3.40	4.00
オーナーシップと責任 · 観察 15	4.00	4.00	4.00	4.00
問題解決 · 観察 15	4.20	4.40	3.60	3.80
コラボレーション · 観察 15	4.00	4.00	3.20	4.00
適応力 · 観察 15	4.00	4.40	4.00	4.00

そのコンピテンシーのシナリオにおける特性評価の平均（1–5）。観測数が少ない場合、1つまたは2つの回答が全体の行を決定します。

生成された回答コンピテンシープロファイル / 1

コンピテンシー区間は各コンピテンシーの事後分布から得た90%区間です。観察が1回のみの場合は参考値とし、区間は表示しません。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンク内は26シナリオです。25シナリオ後、SEの目標0.30を満たして終了しました。

コンピテンシー別のスコアと90%バンド

コミュニケーション記述スコア

コミュニケーション観察**15**

25.00

コミュニケーション 90% 区間下限	25.00	コミュニケーション 90% 区間上限	25.00

オーナーシップと責任記述スコア

オーナーシップと責任観察**15**

25.00

オーナーシップと責任 90% 区間下限	25.00	オーナーシップと責任 90% 区間上限	25.00

問題解決記述スコア

問題解決観察**15**

25.00

問題解決 90% 区間下限	25.00	問題解決 90% 区間上限	25.00

0 25 50 75 100

レールは記述的な0–100点数尺度です。

生成された回答コンピテンシープロファイル / 2

算出された根拠・継続

コラボレーション 記述スコア

コラボレーション 観察: 15

25.00

コラボレーション 90%区間下限:

25.00

コラボレーション 90%区間上限:

25.00

適応力 記述スコア

適応力 観察: 15

25.00

適応力 90%区間下限:

25.00

適応力 90%区間上限:

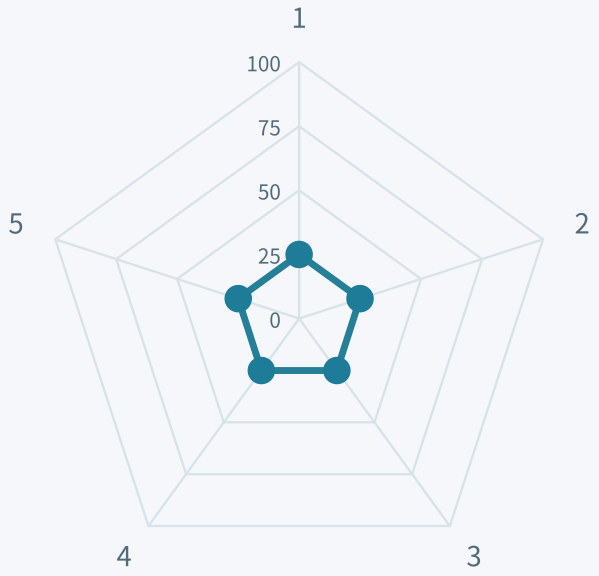
25.00

0 25 50 75 100

レールは記述的な0–100点数尺度です。

生成された回答コンピテンシープロファイル / 3

ケーススコアと同サンプル中央値および中間50%



1 コミュニケーション: 25.00

2 オーナーシップと責任: 25.00

3 問題解決: 25.00

4 コラボレーション: 25.00

5 適応力: 25.00

記述型回答データであり、性格や補正されたコンピテンシーに関する推論はありません。

生成回答の記述型スコアであり、熟達度ではありません。業務成果を推論しないでください。

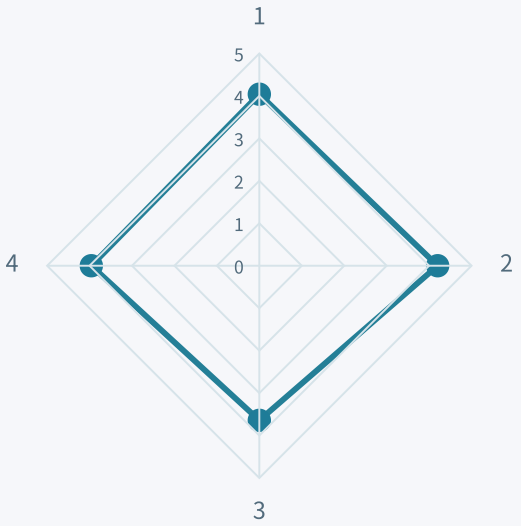
番号付き軸はリストに一致します。放射状スケール: 0–100の記述スコア; リングは25、50、75、100にあります。

青緑: 事例記述型スコア。コホート中央値および中央50%の表示には、検証済みのコホートフィードが必要ですが、今回の実行にはありません。90%区間は前のシートにあり、どれも補正された固有区間ではありません。

コンピテンシー	ケース	中央値	中央50%
コミュニケーション	25.00	—	—
オーナーシップと責任	25.00	—	—
問題解決	25.00	—	—
コラボレーション	25.00	—	—
適応力	25.00	—	—

生成された回答コンピテンシープロファイル / 4

特性評価: 本人の値（同一標本の参考値は利用不可）



1 根拠: 4.04

2 コミュニケーション: 4.20

3 リスク認識: 3.64

4 実行: 3.96

記述型回答データであり、性格や補正されたコンピテンシーに関する推論はありません。

適応型出典、特性レーダー。マスキングされた雇用者用ビューであり、数値は生成回答を説明するだけで業務成果ではありません。

青緑: この事例の平均。検証済みコホート特性データがないため、中央値と中央50%は表示しません。番号軸は一覧に対応します。半径0–5、観察された特性評価1–5。

軸	事例平均	コホート中央値	中央50%
1 根拠	4.04	—	—
2 コミュニケーション	4.20	—	—
3 リスク認識	3.64	—	—
4 実行	3.96	—	—

事例スコアと同一サンプル参考値

この受検には検証済みコホート参照集団が接続されていないため、比較を表示しません。集団が接続されると、このパネルにその集団内での候補者の位置を表示します。

0 25 50 75 100

オレンジ: 事例。コホート中央値および中央50%表示には検証されたコホートフィードが必要であり、今回の実行にはありません。記述型0–100。

適応型出典。マスキングされた雇用者用ビューであり、生成回答が業務成果を証明しません。

生成された回答コンピテンシープロファイル / 5

コンピテンシー特性ヒートマップ

	根拠	伝達力	リスク認識	実行具体性
コミュニケーション	4.00	4.20	3.40	4.00
オーナーシップと責任	4.00	4.00	4.00	4.00
問題解決	4.20	4.40	3.60	3.80
コラボレーション	4.00	4.00	3.20	4.00
適応力	4.00	4.40	4.00	4.00

特性観察値 (1–5): 1 2 3 4 5

記述的な図です。使用前に元データを確認してください。

濃い青緑は観察平均が高いことを示し、数値は正確な平均です。既存の線形塗りで下限はゼロです。参考セルは比較根拠ではありません。

候補者比較根拠 / 1

同じ評価からの追加の記述的なビュー。合成やランクはありません。

すべての応募者の点を示すスコア分散

この受検には検証済みコホート参照集団が接続されていないため、比較を表示しません。集団が接続されると、このパネルにその集団内での候補者の位置を表示します。

候補者比較根拠 / 2

同一評価から取得した追加の記述型例。検証された採用基準や発行された評価ではありません。

コホートのスコアはどこに集中しているか

経験的累積スコア曲線

この受検には検証済みコホート参照集団が接続されていないため、比較を表示しません。集団が接続されると、このパネルにその集団内での候補者の位置を表示します。

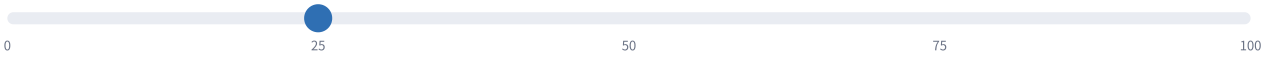
コンピテンシー詳細分析 · 1/2 観察済み 記述的

各カードにはスコア、実施されたシナリオ、特性、および1つの主要な引用が含まれています。

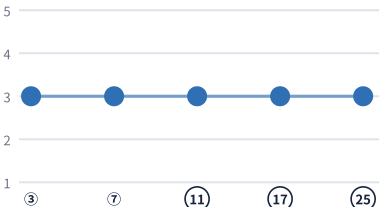
コミュニケーション

25.00 · 観察5回

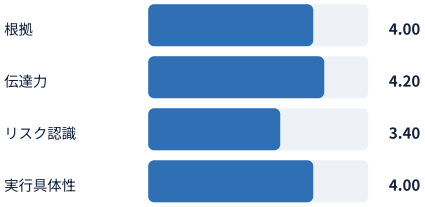
後続質問12回



シナリオ別有効性（1–5）



4特性



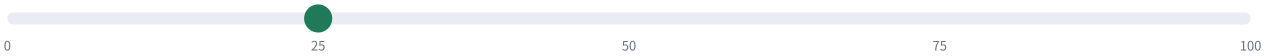
核心引用

応募者はプロジェクトの目標と制約を明確にし、チームメンバーとの誤解を減らしました。

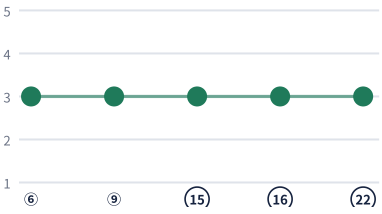
オーナーシップと責任

25.00 · 観察5回

後続質問15回



シナリオ別有効性（1–5）



4特性



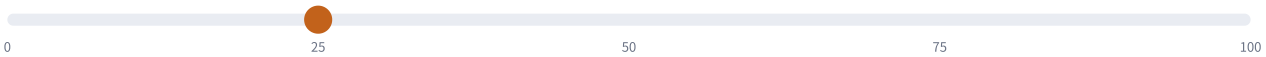
核心引用

関係者を集めて事実を整理し、マイルストーンを設定してプロジェクトを管理しました。

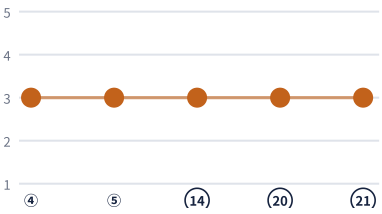
問題解決

25.00 · 観察5回

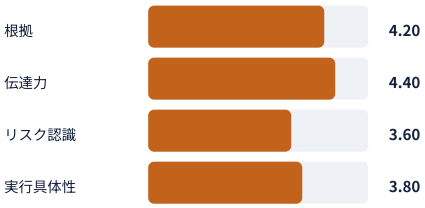
後続質問15回



シナリオ別有効性（1–5）



4特性



核心引用

プロジェクトの効率化とステークホルダー対応を通じて、納期と品質を両立させるための具体的な手順を示した。

金色リング = 使用された選択確認・今回の実行にはコホート比較表示を使用できません

コンピテンシー詳細分析 1 / 1

コンピテンシー区間は各コンピテンシーの事後分布の90%区間です。根拠の等級は付けていません。設定上限27、バンク26シナリオ。今回の実行は0.30 SE目標を充足し、25個後に中断しました。

コンピテンシー詳細分析・読む順序

コンピテンシー値、観察数、90%区間の出典表は7ページにあります。この節では表を繰り返さず、図と入力の役割を区別します。

コンピテンシー値 22, 24, 25ページ

点は記述スコア、棒は90%区間です。較正済み信頼区間でも仕事能力の範囲でもありません。

対応するシナリオ回答 23, 24, 26ページ

対応するコンピテンシーの生成回答評価を示します。元の入力尺度は他の測定値と区別してください。

回答品質の入力 23, 25, 26ページ

これらの軸は回答に記録された入力であり、性格特性や検証済みコンピテンシースコアではありません。

解釈の限界

異なる尺度を合計して全体順位を作らないでください。90%区間の幅は、独立した人による評価で検証された根拠の等級ではありません。相対比較は別の比較ページと同じ出典の同点規則に従います。

コンピテンシー詳細分析 1 / 2

25.00 記述型スコア

25.00–25.00 90%区間

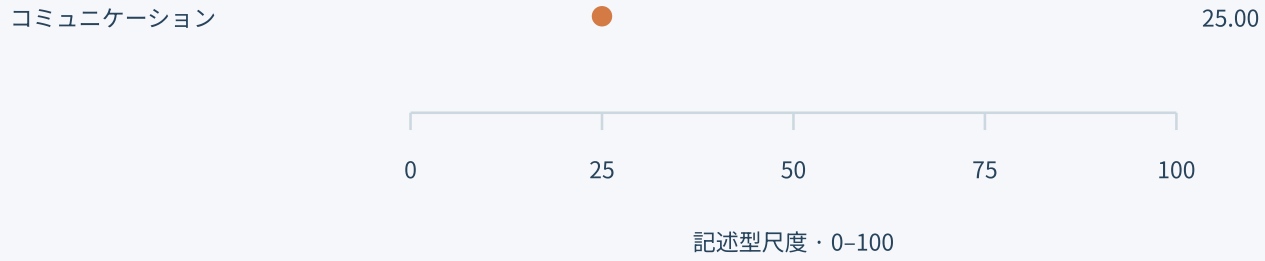
5 観察

コミュニケーション

このチャートのコンピテンシーのみが、ページ7のソース表から示されています。他のコンピテンシーの行は繰り返されていません。

コミュニケーション 記述スコア	25.00
コミュニケーション 観察	5
コミュニケーション 90%区間下限	25.00
コミュニケーション 90%区間上限	25.00

コンピテンシー値と90%帯域



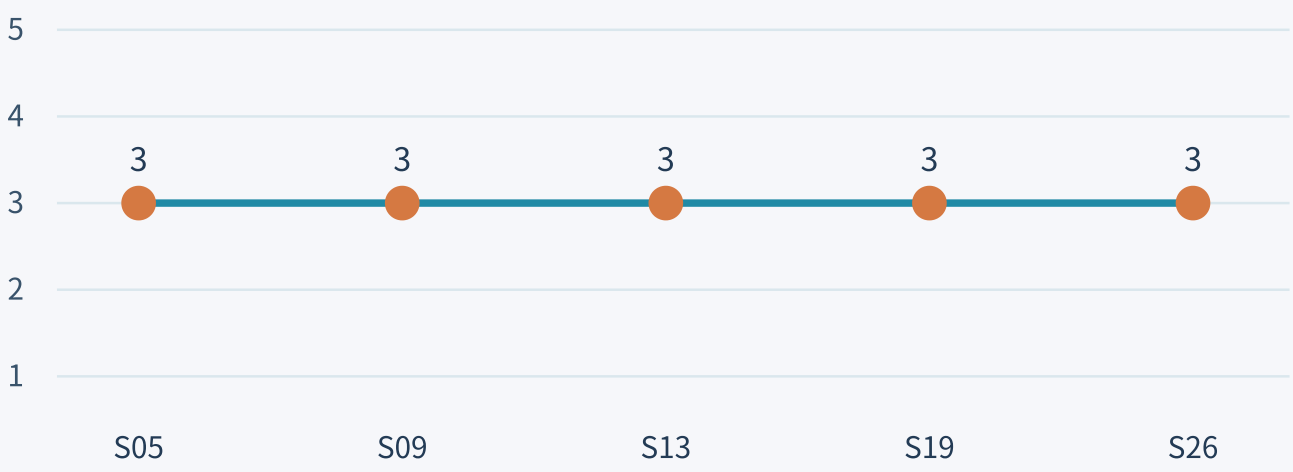
点: 記述的な値。バー: 別個の90%区間であり、補正された信頼区間ではありません。この表示は候補者や業務能力を証明するものではありません。

尺度を分けておく

観察数は、このコンピテンシーに関連付けられたシナリオの数です。この0〜100の記述的スケールは、シナリオの1〜5の回答評価と同じ単位ではありません。90%帯の幅を根拠のグレードに変換しないでください。

コンピテンシー詳細分析 1 / 3

コミュニケーション・回答評価



S05: ソフトウェア開発の遅延管理

S09: プロジェクトでの品質と締切のバランス

S13: ソフトウェア開発の遅延管理

S19: プロジェクト遅延と顧客期待への対応

S26: プロジェクト管理における品質対納期

> このコンピテンシーに実施されたシナリオ5件（今回の適応型進行で問われなかったバンクシナリオ5件中0件）. 序列型効果性入力(1–5)であり、補正されたコンピテンシー推定ではありません。原文の候補者対話は表示しません。

コミュニケーション・回答品質の平均



回答品質の平均: 評価1–5をゼロ基準で表示。棒の長さは元の平均、ラベルは小数点以下2桁です。

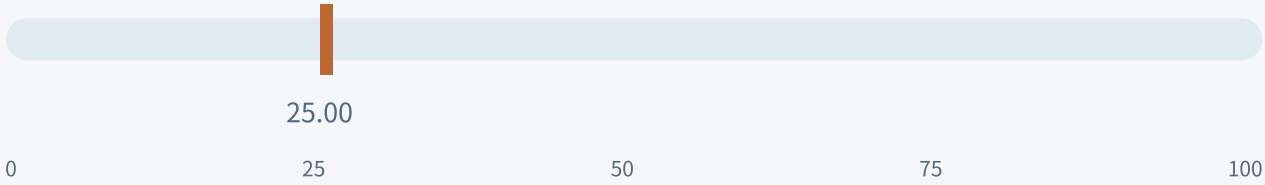
> 記述的な図です。使用前に元データを確認してください。

コンピテンシー詳細分析 1 / 4

オーナーシップと責任・記述型スコア

オーナーシップと責任

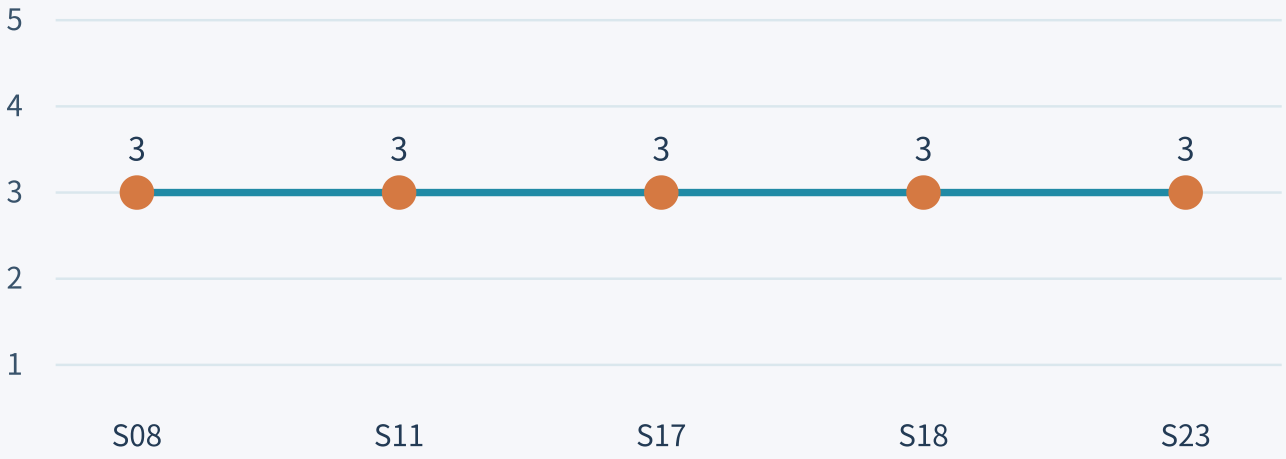
25.00 / 100



記述型スコア尺度: 0–100。この軸上の数字は90%区間の両端点を示します。

> 記述的な図です。使用前に元データを確認してください。 淡色の帯はコンピテンシーの事後分布の90%区間であり、較正済み信頼区間ではありません。

オーナーシップと責任・回答評価



S08: プロジェクトの予期せぬ技術的問題

S11: クライアントの期待とリソース管理

S17: リソース不足の管理

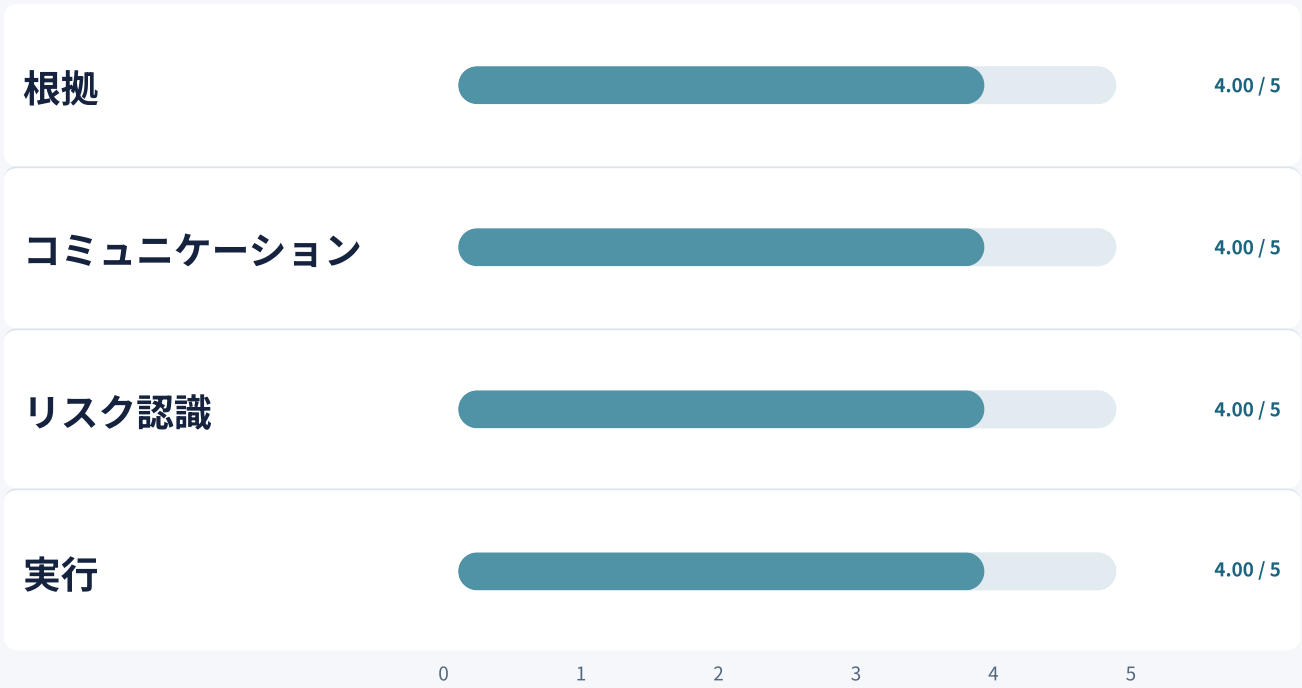
S18: 技術的な問題と納期への対応

S23: クライアントのニーズとチームの健康のバランス

> このコンピテンシーに実施されたシナリオ5件（今回の適応型進行で問われなかったバンクシナリオ5件中0件）. 序列型効果性入力(1–5)であり、補正されたコンピテンシー推定ではありません。原文の候補者対話は表示しません。

コンピテンシー詳細分析 1 / 5

オーナーシップと責任・回答品質の平均



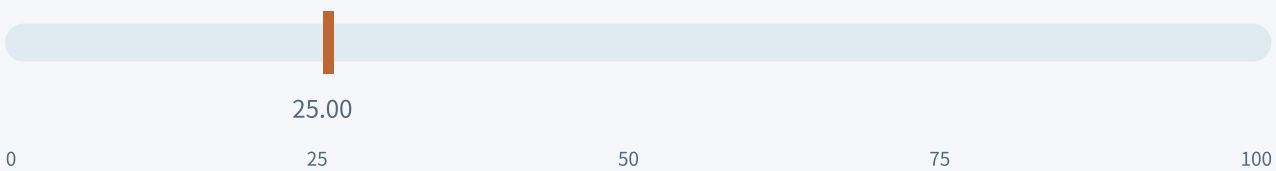
オーナーシップと責任 特性平均: 評価1–5をゼロ基準で表示。棒の長さは元の平均、ラベルは小数点以下2桁です。

> 記述的な図です。使用前に元データを確認してください。

問題解決・記述型スコア

問題解決

25.00 / 100

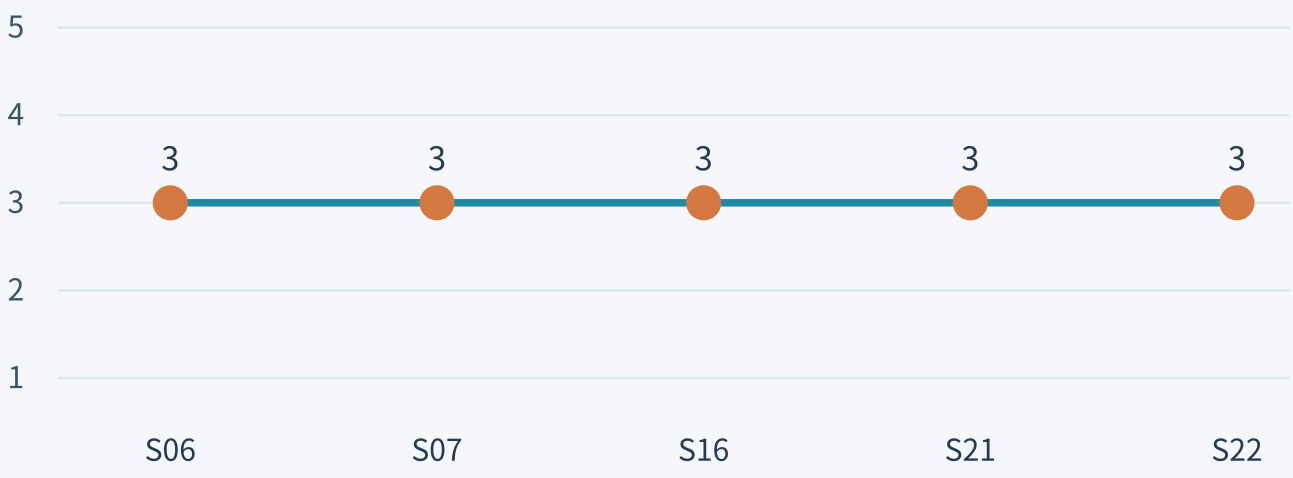


記述型スコア尺度: 0–100。この軸上の数字は90%区間の両端点を示します。

> 記述的な図です。使用前に元データを確認してください。 淡色の帯はコンピテンシーの事後分布の90%区間であり、較正済み信頼区間ではありません。

コンピテンシー詳細分析 1 / 6

問題解決・回答評価



S06: ITプロジェクトのリソース課題

S07: ITプロジェクトのリソース課題

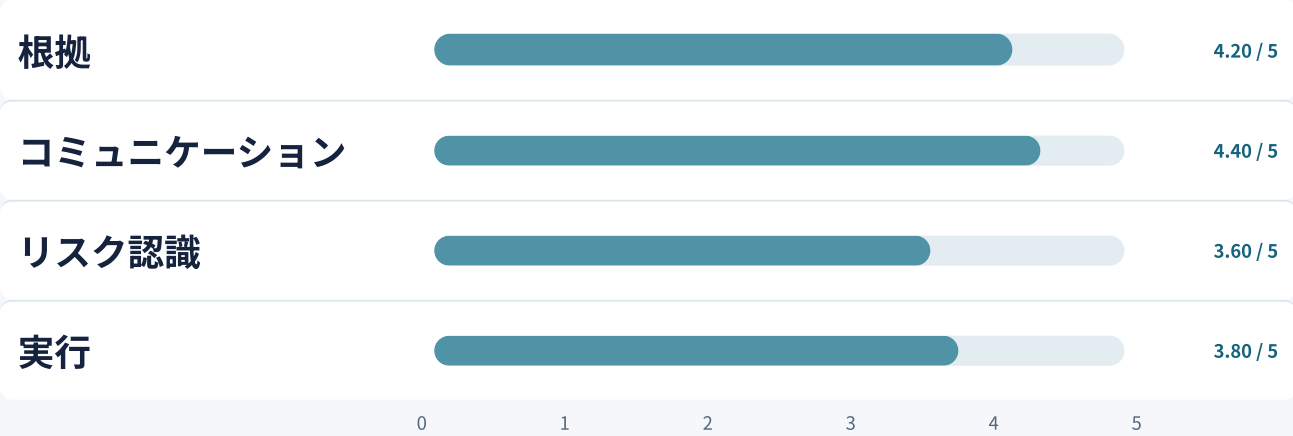
S16: 品質とリソースのバランス

S21: ソフトウェア開発の技術的課題

S22: ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー

> このコンピテンシーに実施されたシナリオ5件（今回の適応型進行で問われなかったバンクシナリオ5件中0件）. 序列型効果性入力(1–5)であり、補正されたコンピテンシー推定ではありません。原文の候補者対話は表示しません。

問題解決・回答品質平均



回答の質の平均: 評価 1–5、ゼロ基準からの抽出。バーの長さは生の平均を使用し、ラベルは小数点以下2桁を表示します。

> 記述的なチャート; 使用前に基礎データを確認してください。

証拠に基づく・判決ではありません

コラボレーション 5回の観察すべてが 3点でした. 適応力 5回の観察すべてが 3点でした.

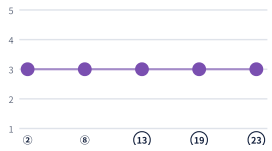
コラボレーション

25.00 · 観察5回

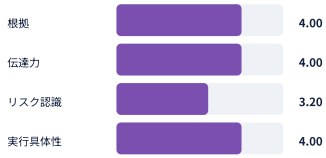
後続質問15回

0 25 50 75 100

シナリオ別有効性（1–5）



4特性



核心引用

関係者全員の意見を聞き、合意した基準を設定し、プロジェクトを前進させました。

適応力

25.00 · 観察5回

後続質問15回

0 25 50 75 100

シナリオ別有効性（1–5）



4特性



核心引用

プロジェクトの進行において、リソース管理、ステークホルダーとのコミュニケーション、品質とスケジュールのバランスを考慮した対応を示しています。

5つすべてを1つのスケールで



5つすべての概要

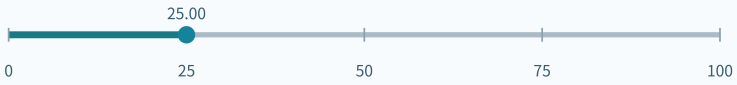
コンピテンシー	スコア	観察	後続質問	確認	平均有効性	コホート中央値［中央50%］	コホート内の位置
コミュニケーション	**25.00**	5	12	0	3.00	提供されていません	提供されていません
オーナーシップと責任	**25.00**	5	15	0	3.00	提供されていません	提供されていません
問題解決	**25.00**	5	15	0	3.00	提供されていません	提供されていません
コラボレーション	**25.00**	5	15	0	3.00	提供されていません	提供されていません
適応力	**25.00**	5	15	0	3.00	提供されていません	提供されていません

観察2回未満はスコアではなく参考値です。

5つの記述的なコンピテンシー行

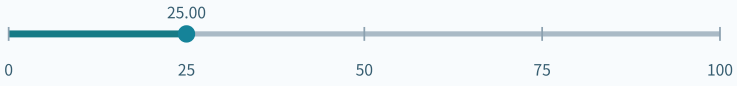
各行は、1–5の回答効果入力に基づいてマッチングされた記述的な0–100スケールを使用します。バンドはプロファイルページに表示されます。根拠のグレードはありません。1観察データレンズは参照のみです。

コミュニケーション



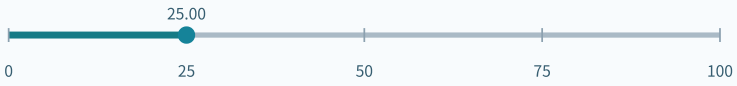
観察 5回 (S05, S09, S13, S19, S26)。記述的な情報であり、採用判定ではありません。

オーナーシップと責任



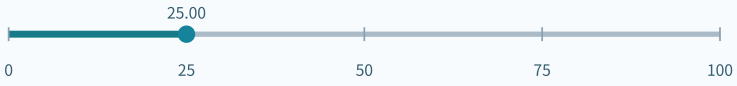
観察 5回 (S08, S11, S17, S18, S23)。記述的な情報であり、採用判定ではありません。

問題解決



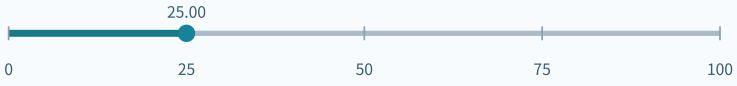
観察 5回 (S06, S07, S16, S21, S22)。記述的な情報であり、採用判定ではありません。

コラボレーション



観察 5回 (S03, S10, S15, S04, S24)。記述的な情報であり、採用判定ではありません。

適応力



観察 5回 (S01, S12, S14, S20, S25)。記述的な情報であり、採用判定ではありません。

コンピテンシー詳細分析 2 / 1

90%区間は各コンピテンシーの事後分布から得られます。観察が1回のみの場合は参考値とし、区間は表示しません。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンク内は26シナリオです。この個人は0.30 SE目標を満たし、25個後に中断しました。

コンピテンシー詳細分析・読書ルート

完全なコンピテンシー値、観察数、および90%帯のソーステーブルは7ページに残っています。このセクションでは、チャートの役割とその入力を分けており、そのテーブルを繰り返していません。

コンピテンシー値

ページ 30, 32, 35

30 および 35 ページは記述的スコアと90%のバンドを別々に示します。32 ページは参照のみの単一観察コンピテンシースコアを示し、比較バンドはありません。いずれも校正された信頼区間や職務能力の範囲ではありません。

一致するシナリオ回答

ページ 31, 32

これらは一致するコンピテンシーのために生成された回答評価を示しています。ソース入力スケールを他の測定値と分けて保持してください。

回答の質の入力

ページ 31, 33

これらの軸は回答のために記録された入力であり、性格特性や検証されたコンピテンシースコアではありません。

マスクされた記録

ページ 33–35

これらは生成された回答根拠の制限表示です。生の対話やアクセスの許可ではありません。

解釈の境界

異なる尺度を総合ランクに組み合わせないでください。90%帯域幅は、独立した人間の評価に対して検証された根拠のグレードではありません。相対比較は、別の比較ページとその同一ソースのタイルールに従います。

コンピテンシー詳細分析 2 / 2

25.00 記述的なスコア

25.00–25.00 90%帯

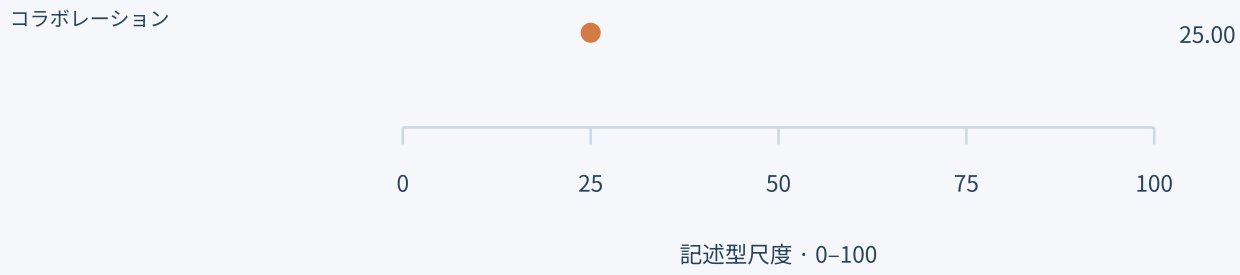
5 観察

コラボレーション

このチャートのコンピテンシーのみが、ページ7のソース表から示されています。他のコンピテンシーの行は繰り返されていません。

コラボレーション 記述型スコア	25.00
コラボレーション 観察	5
コラボレーション 90% 区間下限	25.00
コラボレーション 90% 区間上限	25.00

コンピテンシー値と90%帯域



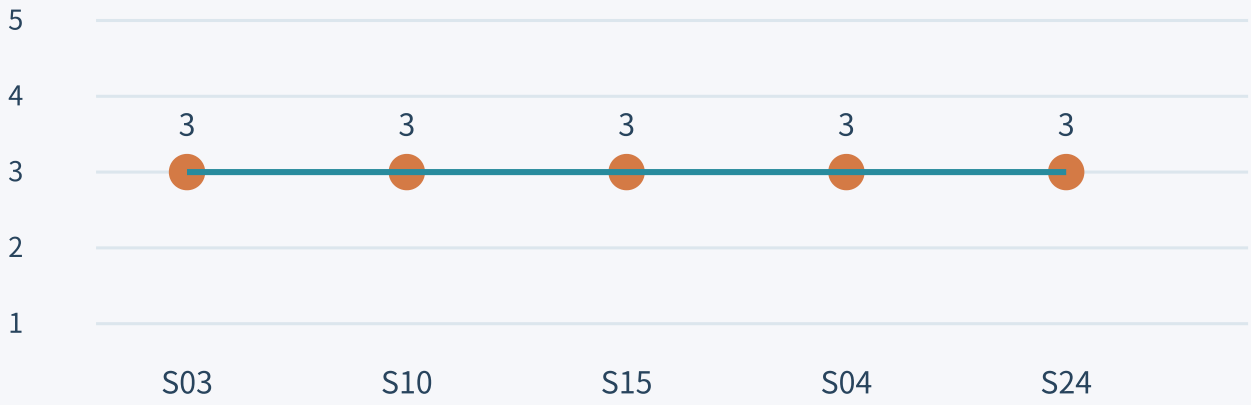
点: 記述的な値。バー: 別の90%帯域、校正された信頼区間ではありません。

尺度を分けておく

観察数は、このコンピテンシーに関連付けられたシナリオの数です。この0〜100の記述的スケールは、シナリオの1〜5の回答評価と同じ単位ではありません。90%帯の幅を根拠のグレードに変換しないでください。

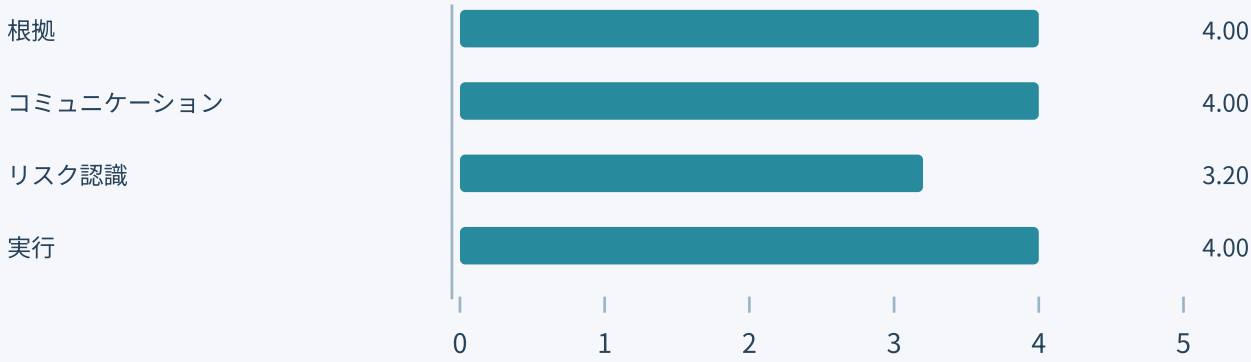
コンピテンシー詳細分析 2 / 3

コラボレーション・回答評価



このコンピテンシーで実施したシナリオは5件です（バンク内5件中0件は未実施）。*はアンカー確認です。回答の効果性（1–5）は入力値であり、較正済みコンピテンシー推定値ではありません。原文の対話は表示しません。

コラボレーション・回答品質平均



記述的な図です。使用前に元データを確認してください。

特性平均: 評価1–5、ゼロ基準で表示。

読み取りガイド: 上部のチャートは各実施されたシナリオの1-5の回答評価をプロットし、下部のチャートはそれらのシナリオにわたる各回答品質特性の平均を示します。異なるスケールは組み合わされません。

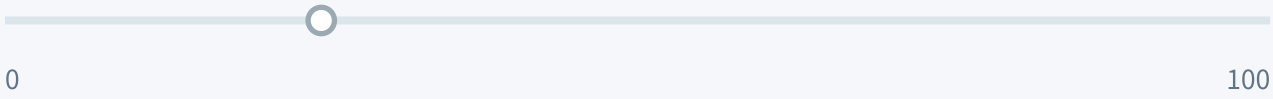
コンピテンシー詳細分析 2 / 4

適応力・記述型スコアと90%区間

適応力 25.00

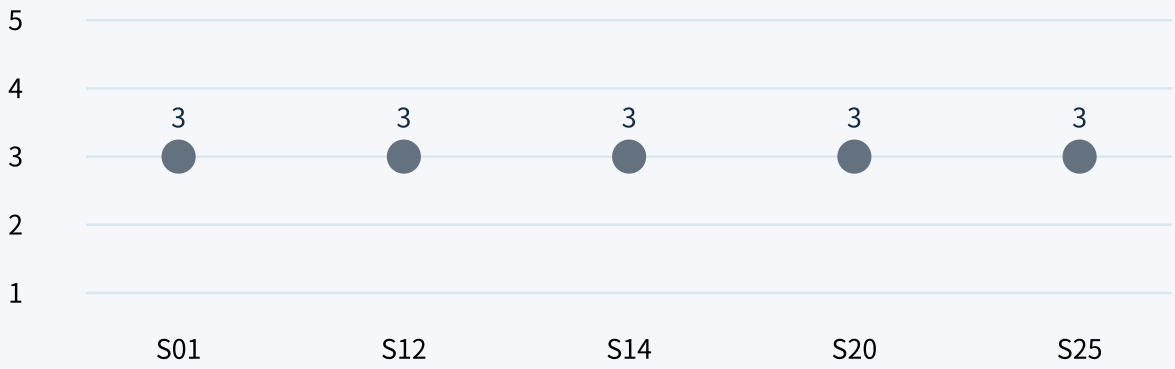
25.00 / 100

別の90%区間がある記述型スコア。



記述スコア。90%区間は較正済み信頼区間でも仕事能力の範囲でもありません。

適応力・回答評価



実施シナリオ5件 (S01, S12, S14, S20, S25)。*はアンカー確認。回答有効性の入力1–5であり、較正済みコンピテンシー推定ではありません。

コンピテンシー詳細分析 2 / 5

適応力・4軸平均



入力評価1–5、0基準線からの図。

記述的な図です。使用前に元データを確認してください。

S01–S03・マスキングされた回答記録

制限: マスクされた応答の根拠、逐語的な引用ではありません

S01

回答の効果性 3/5; 追質問 3回

0 1 2 3 4 5

マスキング

S02

今回の適応型進行で実施されていません

0 1 2 3 4 5

未実施

S03

回答の効果性 3/5; 追質問 3回

0 1 2 3 4 5

マスキング

回答の有効性評価 1–5; レール基準値 0。

完全な対話には、別のテナント準拠の制限付きアクセスが必要です。

適応型ソース、シナリオ引用マトリックス。雇用者向けマスクビュー; 数値は生成された回答を示し、職務遂行能力を示すものではありません。

コンピテンシー詳細分析 2 / 6

S04–S06・マスキングされた回答記録

制限: マスクされた応答の根拠、逐語的な引用ではありません

S04

回答の効果性 3/5; 追質問 3回



マスキング

S05

回答の効果性 3/5; 追質問 2回



マスキング

S06

回答の効果性 3/5; 追質問 3回



マスキング

回答の有効性評価 1-5; レール基準値 0。

> 完全な対話には、別のテナント準拠の制限付きアクセスが必要です。

適応型ソース、シナリオ引用マトリックス。雇用者向けマスクビュー; 数値は生成された回答を示し、職務遂行能力を示すものではありません。

S07–S09・マスキングされた回答記録

制限: マスクされた応答の根拠、逐語的な引用ではありません

S07

回答の効果性 3/5; 追質問 3回



マスキング

S08

回答の効果性 3/5; 追質問 3回



マスキング

S09

回答の効果性 3/5; 追質問 2回



マスキング

回答の有効性評価 1-5; レール基準値 0。

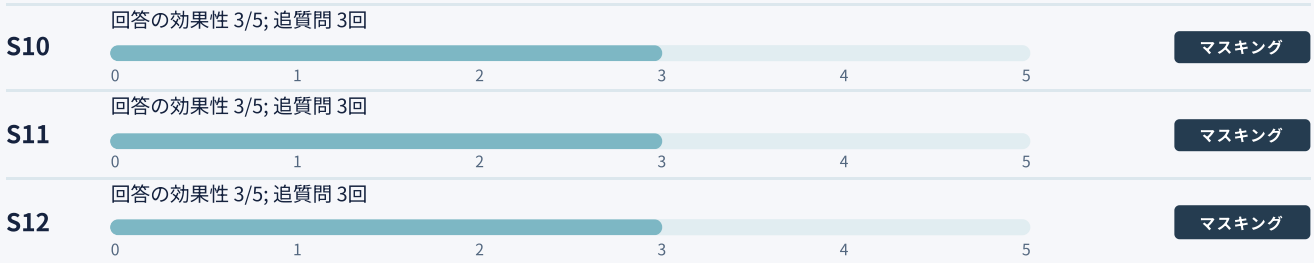
> 完全な対話には、別のテナント準拠の制限付きアクセスが必要です。

適応型ソース、シナリオ引用マトリックス。雇用者向けマスクビュー; 数値は生成された回答を示し、職務遂行能力を示すものではありません。

コンピテンシー詳細分析 2 / 7

S10–S12・マスキングされた回答記録

制限: マスクされた応答の根拠、逐語的な引用ではありません

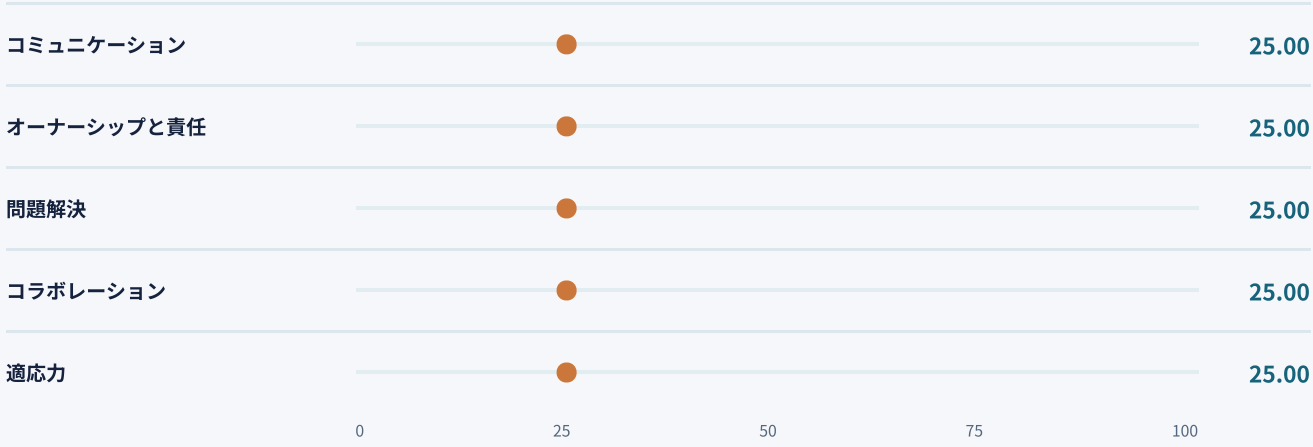


回答の有効性評価 1-5; レール基準値 0。

> 完全な対話には、別のテナント準拠の制限付きアクセスが必要です。

適応型ソース、シナリオ引用マトリックス。雇用者向けマスクビュー; 数値は生成された回答を示し、職務遂行能力を示すものではありません。

5つの記述的なスコアと90%のバンド



記述スコア尺度0–100。点はスコア、帯は90%区間。観察1回には区間がありません。

会話の根拠 · 彼ら自身の言葉での判断

記録された会話の根拠。実施された全会話で同じ評価が記録されました。

会話の仕組み

1 · 自由記述
選択肢なしで自分の言葉で答えます。

2 · フォローアッププローブ
回答で最も弱い点を掘り下げます。この候補者は72回受けました。

3 · アンカーチェック
回答が不明確な場合のみ: 4つの行動の中から最善と最悪を選びます。0回使用。

対話の抜粋は、この雇用者向け証明からは除外されています。完全な書き起こしは、別途テナント準拠の制限付きアクセスが必要です。

全26バンクシナリオ · 25実施

① ITプロジェクトのリソース不足 3/5 · 後続質問 3	② 供給遅延が製品品質に影響 ー未実施	③ 供給遅延が製品品質に影響 3/5 · 後続質問 3	④ 供給問題によるプロジェクト遅延 3/5 · 後続質問 3	⑤ ソフトウェア開発の遅延管理 3/5 · 後続質問 2	⑥ ITプロジェクトのリソース課題 3/5 · 後続質問 3	⑦ ITプロジェクトのリソース課題 3/5 · 後続質問 3
⑧ プロジェクトの予期せぬ技術的問題 3/5 · 後続質問 3	⑨ プロジェクトでの品質と締切のバランス 3/5 · 後続質問 2	⑩ 供給問題によるプロジェクト遅延 3/5 · 後続質問 3	⑪ クライアントの期待とリソース管理 3/5 · 後続質問 3	⑫ チームメンバーの病気によるリソース不足 3/5 · 後続質問 3	⑬ ソフトウェア開発の遅延管理 3/5 · 後続質問 3	⑭ リソース制約下でのプロジェクト管理 3/5 · 後続質問 3
⑮ 遅延した部品供給の管理 3/5 · 後続質問 3	⑯ 品質とリソースのバランス 3/5 · 後続質問 3	⑰ リソース不足の管理 3/5 · 後続質問 3	⑱ 技術的な問題と納期への対応 3/5 · 後続質問 3	⑲ プロジェクト遅延と顧客期待への対応 3/5 · 後続質問 2	⑳ ITプロジェクトのリソース不足 3/5 · 後続質問 3	21. ソフトウェア開発の技術的課題 3/5 · 後続質問 3

記録された会話の評価

証拠に基づく・判決ではありません

記録された会話の根拠。
実施された全会話で同じ評価が記録されました。

バンク内全26シナリオ・実施25件

22. ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー
3/5・後続質問 3

23. クライアントのニーズとチームの健康のバランス
3/5・後続質問 3

24. 供給遅延が製品品質に影響
3/5・後続質問 3

25. ITプロジェクトのリソース不足
3/5・後続質問 3

26. プロジェクト管理における品質対納期
3/5・後続質問 3

記録された会話の評価

会話の根拠

記録されたシナリオの根拠。表示されたシナリオの記録済み応答要約: S01 - リソース不足の中で優先順位をつけ、ステークホルダーと効果的にコミュニケーションを取り、リスクを管理しました。

90%区間は各コンピテンシーの事後分布から得られます。観察が1回のみの場合は参考値とし、区間は表示しません。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンク内は26シナリオです。この個人は0.30 SE目標を満たし、25個後に中断しました。

25件すべてのシナリオが同じ生成回答評価（3/5）です。最高・最低の区別はありません。

会話の経路とカバレッジ

今回の適応型進行で銀行シナリオ26個中25個を質問しました（ダッシュは質問しない）; 0.30 SE目標が満たされ、エンジンが停止しました。後続質問の回数は進行方式を説明するだけで人を説明するものではありません。

シナリオバンクのカバレッジ 25 / 26　　フォローアップ 72　　アンカーチェック 0

ID	シナリオ	評価 / 5	後続質問	選択確認
S01	ITプロジェクトのリソース不足	3/5	3	
S02	供給遅延が製品品質に影響	–	–	
S03	供給遅延が製品品質に影響	3/5	3	
S04	供給問題によるプロジェクト遅延	3/5	3	
S05	ソフトウェア開発の遅延管理	3/5	2	
S06	ITプロジェクトのリソース課題	3/5	3	
S07	ITプロジェクトのリソース課題	3/5	3	
S08	プロジェクトの予期せぬ技術的問題	3/5	3	
S09	プロジェクトでの品質と締切のバランス	3/5	2	
S10	供給問題によるプロジェクト遅延	3/5	3	

残り16件のシナリオは次のページに続きます。

会話の根拠・続き

ID	シナリオ	評価 / 5	後続質問	選択確認
S11	クライアントの期待とリソース管理	3/5	3	
S12	チームメンバーの病気によるリソース不足	3/5	3	
S13	ソフトウェア開発の遅延管理	3/5	3	
S14	リソース制約下でのプロジェクト管理	3/5	3	
S15	遅延した部品供給の管理	3/5	3	
S16	品質とリソースのバランス	3/5	3	
S17	リソース不足の管理	3/5	3	
S18	技術的な問題と納期への対応	3/5	3	
S19	プロジェクト遅延と顧客期待への対応	3/5	2	
S20	ITプロジェクトのリソース不足	3/5	3	
S21	ソフトウェア開発の技術的課題	3/5	3	
S22	ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー	3/5	3	

会話の根拠・続き

ID	シナリオ	評価 / 5	後続質問	選択確認
S23	クライアントのニーズとチームの健康のバランス	3/5	3	
S24	供給遅延が製品品質に影響	3/5	3	
S25	ITプロジェクトのリソース不足	3/5	3	
S26	プロジェクト管理における品質対納期	3/5	3	

実施したシナリオの各得点は、評価・後続質問・対応する特性値とともにエンジンが記録しています。バンクの26件のシナリオのうち25件を出題し、未実施のシナリオはその旨を示しています。回答の対話は、この雇用主向けコピーでは省略しています。

承認されたナラティブブロックはありません。決定論的に記録された事実のみであり、ナラティブ解釈ではありません。

記録されたシナリオの事実

順序	シナリオ	評価	プローブ	アンカー
1	ITプロジェクトのリソース不足	3	3	
2	供給遅延が製品品質に影響	3	3	
3	ソフトウェア開発の遅延管理	3	2	
4	ITプロジェクトのリソース課題	3	3	

① ITプロジェクトのリソース不足・適応力

有効性 3/5・後続質問 3

「この雇用主用証明本では会話を提供しません。」

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 5 リスク 4 実行 4

② 供給遅延が製品品質に影響・コラボレーション

今回の適応型進行で実施されていません

「抜粋なし: このバンクのシナリオは今回実施されていません。」

③ 供給遅延が製品品質に影響・コラボレーション

有効性 3/5・後続質問 3

「この雇用主用証明本では会話を提供しません。」

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

④ 供給問題によるプロジェクト遅延・コラボレーション

有効性 3/5・後続質問 3

「この雇用主用証明本では会話を提供しません。」

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 4 リスク 1 実行 4

⑤ ソフトウェア開発の遅延管理・コミュニケーション

有効性 3/5・後続質問 2

「この雇用主用証明本では会話を提供しません。」

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

⑥ ITプロジェクトのリソース課題・問題解決

有効性 3/5・後続質問 3

「この雇用主用証明本では会話を提供しません。」

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 4 リスク 3 実行 4

⑦ ITプロジェクトのリソース課題・問題解決

有効性 3/5・後続質問 3

「この雇用主用証明本では会話を提供しません。」

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 5 リスク 4 実行 4

証拠に基づく・判決ではありません

引用根拠ボード・続き

⑧ プロジェクトの予期せぬ技術的問題・**オーナーシップと責任**

有効性 3/5・後続質問 3

この雇用主用証明本では会話を提供しません。

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

⑨ プロジェクトでの品質と締切のバランス・**コミュニケーション**

有効性 3/5・後続質問 2

この雇用主用証明本では会話を提供しません。

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 4 リスク 1 実行 4

⑩ 供給問題によるプロジェクト遅延・**コラボレーション**

有効性 3/5・後続質問 3

この雇用主用証明本では会話を提供しません。

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

⑪ クライアントの期待とリソース管理・**オーナーシップと責任**

有効性 3/5・後続質問 3

この雇用主用証明本では会話を提供しません。

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

⑫ チームメンバーの病気によるリソース不足・**適応力**

有効性 3/5・後続質問 3

この雇用主用証明本では会話を提供しません。

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

⑬ ソフトウェア開発の遅延管理・**コミュニケーション**

有効性 3/5・後続質問 3

この雇用主用証明本では会話を提供しません。

採点で確認した内容: 記録されていません。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

採点が回答を読む四つの基準

根拠 平均 4.04

主張を裏付ける事実や確認があるか。

▲ 22. 5/5・採点確認: 記録されていません。

▼ ① 4/5・採点確認: 記録されていません。

コミュニケーション 平均 4.20

誰に何をどの順序で伝えるか。

▲ ① 5/5・採点確認: 記録されていません。

▼ ③ 4/5・採点確認: 記録されていません。

リスク認識 平均 3.64

回答は何が問題になり得るかを捉えているか。

▲ ① 4/5・採点確認: 記録されていません。

▼ ⑨ 1/5・採点確認: 記録されていません。

実行 平均 3.96

日付、責任者、次の手順は具体的か。

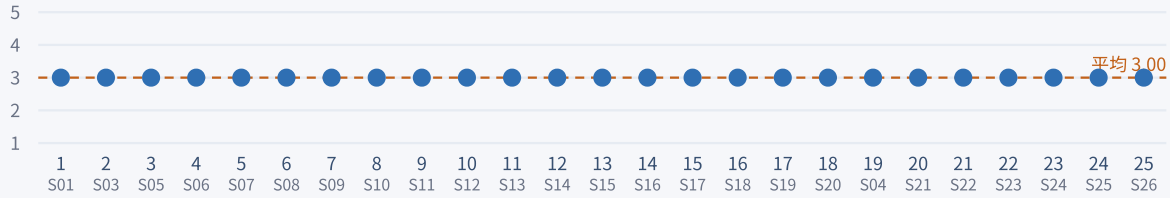
▲ ① 4/5・採点確認: 記録されていません。

▼ 21. 3/5・採点確認: 記録されていません。

▲ = この要素が最も高かったシナリオ・▼ = 最も低かったシナリオ。

応答の会話はこの雇用主用証明本では提供されません。全体の会話は別のテナント専用の制限アクセスが必要です。

シナリオ別効果性評価

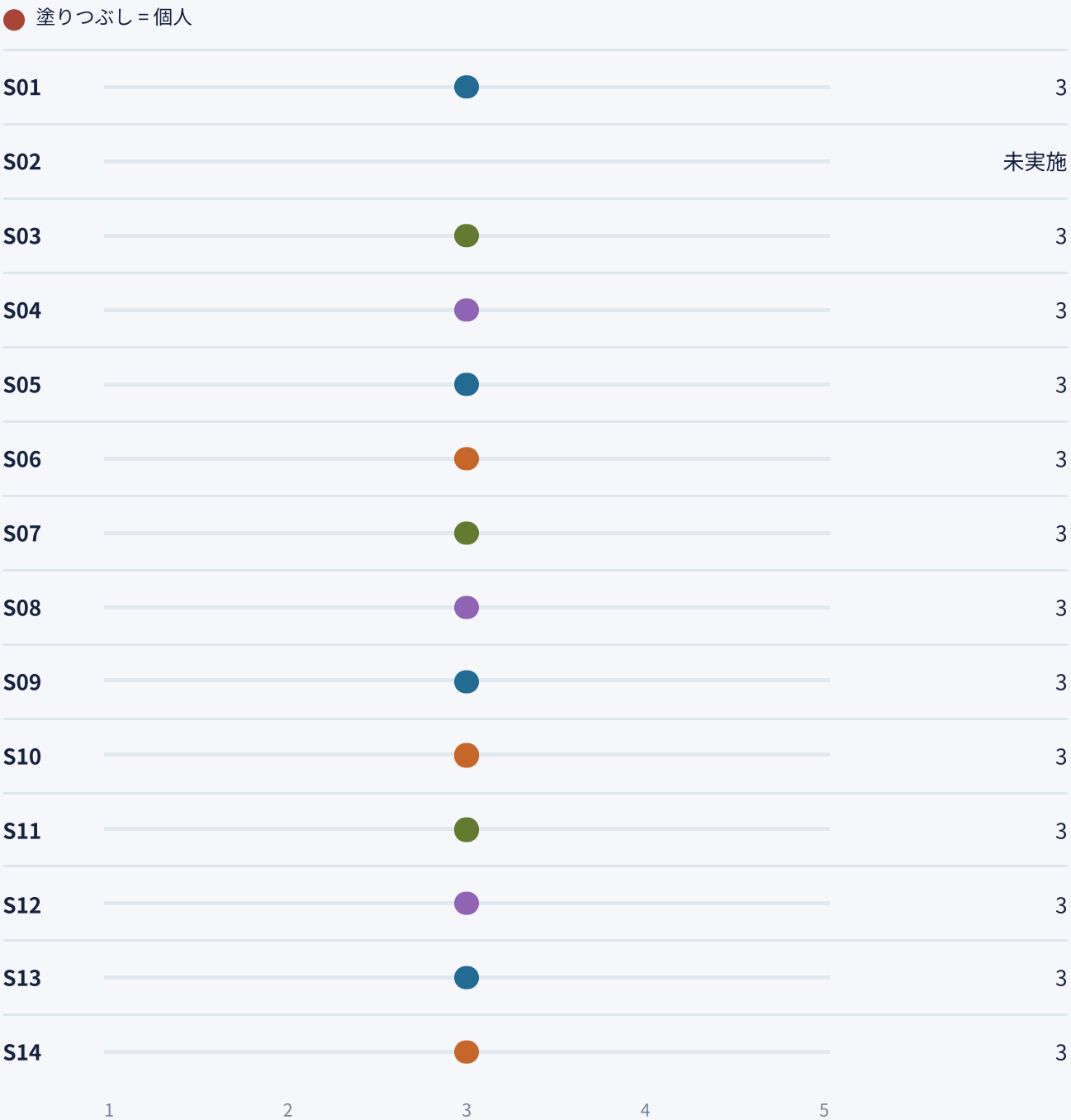


点は実施順序に従い、点線は表示された評価の平均です。尋ねられていないシナリオは評価がありません。技術的情報であり合格ラインはありません。

候補者比較根拠 / 3

この実行の記録されたデータから取得した追加の記述型ビュー。検証された採用基準や発行された評価ではありません。

同一シナリオ候補者とコホート平均の比較



塗りつぶしは個人の1–5評価（実施されたシナリオのみ）です。この差異はコンピテンシー順位ではありません。

コホート比較データを使用できません（この実行の記録のみ表示）。

ソース: この実行の記録された回答評価、実施されたシナリオ

候補者比較根拠 / 3・続き


S15
3
S16
3
S17
3
S18
3
S19
3
S20
3
S21
3
S22
3
S23
3
S24
3
S25
3
S26
3
1
2
3
4
5

マスクされた回答根拠ボード

この実行の記録された根拠からのマスクされた回答ビュー。

コンピテンシー区間は各コンピテンシーの事後分布から得た90%区間です。観察が1回のみのコンピテンシーは参考値で、区間はありません。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンクは26シナリオです。この実行は25シナリオの後にカバレッジと精度の基準を満たしたため停止しました。

シナリオバンク：26件

S01
ITプロジェクトのリソース不足
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S02
供給遅延が製品品質に影響
今回の適応型進行で実施されていません

S03
供給遅延が製品品質に影響
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S04
供給問題によるプロジェクト遅延
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S05
ソフトウェア開発の遅延管理
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S06
ITプロジェクトのリソース課題
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S07
ITプロジェクトのリソース課題
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S08
プロジェクトの予期せぬ技術的問題
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S09
プロジェクトでの品質と締切のバランス
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S10
供給問題によるプロジェクト遅延
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S11
クライアントの期待とリソース管理
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S12
チームメンバーの病気によるリソース不足
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S13
ソフトウェア開発の遅延管理
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S14
リソース制約下でのプロジェクト管理
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

マスクされた回答根拠と4つの入力軸

雇用者向けのレポートには、候補者の完全な対話は再現されません。生の回答への制限付きアクセスには、別途テナント準拠のレビューとマスキングが必要です。以下の4つの数字は、生成された回答品質の入力であり、性格特性ではありません。

4つの入力軸 根拠・コミュニケーション・リスク認識・実行; 1–5の生成評価

4つの回答品質入力

これらの4つの独立して記録された1–5の入力は回答を説明しており、性格ではありません。以下の最高および最低の例はシナリオ固有であり、仕事に関する予測ではありません。

入力	平均 / 5	選択された高評価シナリオ	低評価シナリオの選択
示された根拠	4.04	S22 · 5/5	S01 · 4/5
コミュニケーション	4.20	S01 · 5/5	S03 · 4/5
リスク認識	3.64	S01 · 4/5	S04 · 1/5
実行の具体性	3.96	S01 · 4/5	S21 · 3/5

複数のシナリオが同じ最高または最低の入力評価を共有する場合、表はシナリオ順に最初のものを名前で示します。これらは選択された生成例であり、ユニークなピークや候補者の引用ではありません。

マスクされた回答根拠ボード・続き

S15
遅延した部品供給の管理
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S16
品質とリソースのバランス
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S17
リソース不足の管理
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S18
技術的な問題と納期への対応
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S19
プロジェクト遅延と顧客期待への対応
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S20
ITプロジェクトのリソース不足
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S21
ソフトウェア開発の技術的課題
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S22
ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S23
クライアントのニーズとチームの健康のバランス
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S24
供給遅延が製品品質に影響
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S25
ITプロジェクトのリソース不足
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

S26
プロジェクト管理における品質対納期
マスキングされた回答 · 生成効果性3/5

証拠に基づく・判決ではありません

記録されたシナリオの評価値一覧

承認されたナラティブブロックはありません。決定論的に記録された事実のみであり、ナラティブ解釈ではありません。

記録されたシナリオの事実

順序	シナリオ	評価	プローブ	アンカー
5	ITプロジェクトのリソース課題	3	3	

⑭ リソース制約下でのプロジェクト管理・適応力

有効性 3/5・後続質問 3

顧客の要望に対してデータと代替案を提示し、信頼を築くことを重視しています。

採点で確認した内容: データと代替案を添えて正直に伝えることが信頼の基盤だと考えています。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

⑮ 遅延した部品供給の管理・コラボレーション

有効性 3/5・後続質問 3

品質とスケジュールを調整するためにステークホルダーとのコミュニケーションを重視し、明確な基準を設定して問題を解決しようとしています。

採点で確認した内容: 品質の絶対的基準と調整可能な範囲を明確にして問題を解決しようとしました。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

⑯ 品質とリソースのバランス・問題解決

有効性 3/5・後続質問 3

技術的な問題解決のために明確なコミュニケーションとリソースの再配置を強調し、ステークホルダーとのコミュニケーションを通じてプロジェクトのリスクを管理しています。

採点で確認した内容: 目的・制約・役割を一枚にまとめ、各自に書面で確認か修正を求めました。それだけで数週間のロスにつながる三つの誤解が消えました。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

⑰ リソース不足の管理・オーナーシップと責任

有効性 3/5・後続質問 3

リスクを可逆と不可逆に分け、ステークホルダーと定期的にコミュニケーションを取り、リソースを効率的に配分しました。

採点で確認した内容: 可逆と不可逆を分けることで、リスクを増やさずに速度を上げられます。目的・制約・役割を一枚にまとめ、各自に書面で確認か修正を求めました。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

⑱ 技術的な問題と納期への対応・オーナーシップと責任

有効性 3/5・後続質問 3

過去の経験を基に、関係者を集めて事実を整理し、仮定を分けて問題解決に取り組んだ。

採点で確認した内容: 関係者を集め、評価を交えずに事実を整理し、分かっていることと仮定を分けました。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

⑲ プロジェクト遅延と顧客期待への対応・コミュニケーション

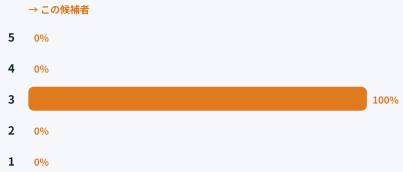
有効性 3/5・後続質問 2

関係者を集めて事実を整理し、優先順位を再設定してプロジェクトを進行します。

採点で確認した内容: 関係者を集め、評価を交えずに事実を整理し、分かっていることと仮定を分けました。

根拠 4 伝達 4 リスク 4 実行 4

バタフライ・効果性分布 (この応募者)



コホート比較データを使用できません（この実行の記録のみ表示）。

シナリオ	効率	プローブ	アンカー	最低特性
① ITプロジェクトのリソース不足	3	3		
③ 供給遅延が製品品質に影響	3	3		
④ 供給問題によるプロジェクト遅延	3	3		リスク（1）
⑤ ソフトウェア開発の遅延管理	3	2		

特性チップの色: 赤 1 → 緑 5。

証拠に基づく・判決ではありません

記録されたシナリオの評価値一覧

⑳ ITプロジェクトのリソース不足・適応力

有効性 3/5・後続質問 3

応募者はプロジェクト管理において、構造的でありながら人を中心としたアプローチを取りました。

採点で確認した内容: 外部依存でプロジェクトが遅延した際、各関係者と個別に話し合い、意見を収集しました。

根拠 4　伝達 4　リスク 4　実行 4

21. ソフトウェア開発の技術的課題・問題解決

有効性 3/5・後続質問 3

プロジェクトのスコープを見直し、優先順位を再設定し、クライアントとの信頼関係を築くために正直に伝えることを重視しています。

採点で確認した内容: プロジェクトのスコープを見直し、優先順位を再設定することで、重要な機能に集中し、期限内に完成させる。

根拠 4　伝達 4　リスク 3　実行 3

22. ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー・問題解決

有効性 3/5・後続質問 3

プロジェクトの効率化とステークホルダー対応を通じて、納期と品質を両立させるための具体的な手順を示した。

採点で確認した内容: 目的・制約・役割を一枚にまとめ、各自に書面で確認か修正を求めました。
それだけで数週間のロスにつながる三つの誤解が消えました。

根拠 5　伝達 5　リスク 4　実行 4

23. クライアントのニーズとチームの健康のバランス・オーナーシップと責任

有効性 3/5・後続質問 3

関係者を集めて事実を整理し、マイルストーンを設定してプロジェクトを管理しました。

採点で確認した内容: 関係者を集め、評価を交えずに事実を整理し、分かっていることと仮定を分けました。

根拠 4　伝達 4　リスク 4　実行 4

証拠に基づく・判決ではありません

記録されたシナリオの評価値一覧

24. 供給遅延が製品品質に影響・コラボレーション

有効性 3/5・後続質問 3

関係者全員の意見を聞き、合意した基準を設定し、プロジェクトを前進させました。

採点で確認した内容: 各関係者と個別に話し、率直な意見を聞きました。全員が合意した基準で決定できるマトリクスを提案しました。

根拠 4　伝達 4　リスク 3　実行 4

25. ITプロジェクトのリソース不足・適応力

有効性 3/5・後続質問 3

プロジェクトの進行において、リソース管理、ステークホルダーとのコミュニケーション、品質とスケジュールのバランスを考慮した対応を示しています。

採点で確認した内容: データと代替案を添えて正直に伝えることが信頼の基盤だと考えています。

根拠 4　伝達 5　リスク 4　実行 4

26. プロジェクト管理における品質対納期・コミュニケーション

有効性 3/5・後続質問 3

応募者はプロジェクトの目標と制約を明確にし、チームメンバーとの誤解を減らしました。

採点で確認した内容: 目的・制約・役割を一枚にまとめ、各自に書面で確認か修正を求めました。

根拠 4　伝達 5　リスク 4　実行 4

証拠に基づく・判決ではありません

記録されたシナリオの評価値一覧

シナリオ	有効性	後続質問	アンカー	最低特性
⑥ ITプロジェクトのリソース課題	3	3		リスク（3）
⑦ ITプロジェクトのリソース課題	3	3		
⑧ プロジェクトの予期せぬ技術的問題	3	3		
⑨ プロジェクトでの品質と締切のバランス	3	2		リスク（1）
⑩ 供給問題によるプロジェクト遅延	3	3		
⑪ クライアントの期待とリソース管理	3	3		
⑫ チームメンバーの病気によるリソース不足	3	3		
⑬ ソフトウェア開発の遅延管理	3	3		
⑭ リソース制約下でのプロジェクト管理	3	3		
⑮ 遅延した部品供給の管理	3	3		
⑯ 品質とリソースのバランス	3	3		
⑰ リソース不足の管理	3	3		
⑱ 技術的な問題と納期への対応	3	3		
⑲ プロジェクト遅延と顧客期待への対応	3	2		
⑳ ITプロジェクトのリソース不足	3	3		
21. ソフトウェア開発の技術的課題	3	3		
22. ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー	3	3		
23. クライアントのニーズとチームの健康のバランス	3	3		
24. 供給遅延が製品品質に影響	3	3		リスク（3）
25. ITプロジェクトのリソース不足	3	3		
26. プロジェクト管理における品質対納期	3	3		

証拠に基づく・判決ではありません

記録された応答要旨・継続

記録された応答要旨・継続

承認されたナラティブブロックはありません。決定論的に記録された事実のみであり、ナラティブ解釈ではありません。

記録されたシナリオの事実

順序	シナリオ	評価	プローブ	アンカー
6	プロジェクトの予期せぬ技術的問題	3	3	
7	プロジェクトでの品質と締切のバランス	3	2	
8	供給問題によるプロジェクト遅延	3	3	
9	クライアントの期待とリソース管理	3	3	
10	チームメンバーの病気によるリソース不足	3	3	
11	ソフトウェア開発の遅延管理	3	3	
12	リソース制約下でのプロジェクト管理	3	3	
13	遅延した部品供給の管理	3	3	
14	品質とリソースのバランス	3	3	
15	リソース不足の管理	3	3	
16	技術的な問題と納期への対応	3	3	
17	プロジェクト遅延と顧客期待への対応	3	2	
18	ITプロジェクトのリソース不足	3	3	
19	供給問題によるプロジェクト遅延	3	3	
20	ソフトウェア開発の技術的課題	3	3	
21	ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー	3	3	

証拠に基づく・判決ではありません

記録された応答要旨・継続

記録された応答要旨・継続

承認されたナラティブブロックはありません。決定論的に記録された事実のみであり、ナラティブ解釈ではありません。

記録されたシナリオの事実

順序	シナリオ	評価	プローブ	アンカー
22	クライアントのニーズとチームの健康のバランス	3	3	
23	供給遅延が製品品質に影響	3	3	
24	ITプロジェクトのリソース不足	3	3	
25	プロジェクト管理における品質対納期	3	3	

マスクされた回答記録 2 / 1

この実行の記録された根拠からのマスクされた回答ビュー。

コンピテンシー区間は各コンピテンシーの事後分布から得た90%区間です。観察が1回のみのコンピテンシーは参考値で、区間はありません。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンクは26シナリオです。この実行は25シナリオの後にカバレッジと精度の基準を満たしたため停止しました。

マスキングされたシナリオ評価 · S14–S26

S14 リソース制約下でのプロジェクト管理

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

S15 遅延した部品供給の管理

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

S16 品質とリソースのバランス

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

S17 リソース不足の管理

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

S18 技術的な問題と納期への対応

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

S19 プロジェクト遅延と顧客期待への対応

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

S20 ITプロジェクトのリソース不足

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

マスクされた回答記録 2 / 1・続き

S21 ソフトウェア開発の技術的課題

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。
関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

S22 ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。
関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

S23 クライアントのニーズとチームの健康のバランス

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。
関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

S24 供給遅延が製品品質に影響

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。
関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

S25 ITプロジェクトのリソース不足

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。
関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

S26 プロジェクト管理における品質対納期

限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。
関連のない個人情報を判断に使用しないでください。

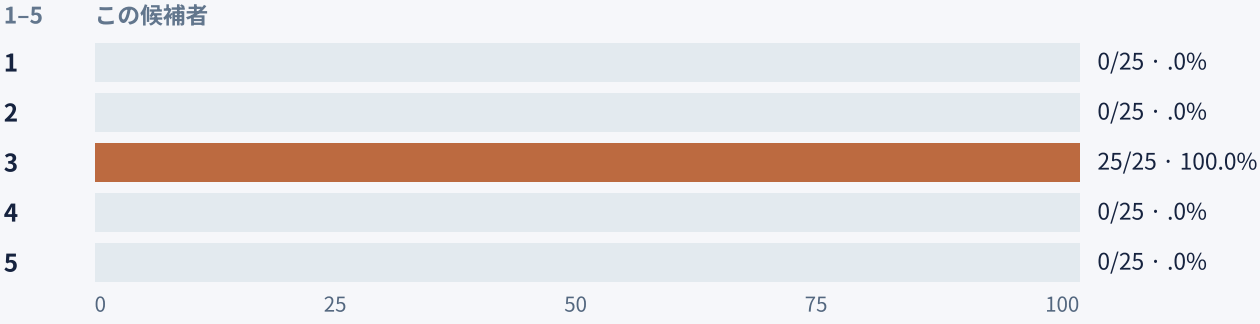
記録されたシナリオの評価値一覧：ソースの手がかり

25 シナリオ記録 | **72** フォローアップ質問 | **0 / 25** 選択確認「はい」

行は生成された回答評価のみを記述し、行動パターンや原因を示すものではありません。

シナリオ	評価	フォローアップ	アンカー	最低の回答特性
S01	3/5	3	いいえ	
S03	3/5	3	いいえ	
S04	3/5	3	いいえ	リスク認識（1）
S05	3/5	2	いいえ	
S06	3/5	3	いいえ	リスク認識（3）
S07	3/5	3	いいえ	
S08	3/5	3	いいえ	
S09	3/5	2	いいえ	リスク認識（1）
S10	3/5	3	いいえ	

生成回答評価・この候補者



コホート比較データを使用できません（この実行の記録のみ表示）。

証拠に基づく・判決ではありません

記録されたシナリオの評価値一覧：ソースの手がかり（続き）

シナリオ	評価	後続質問	アンカー	回答の最低特性
S11	3/5	3	いいえ	
S12	3/5	3	いいえ	
S13	3/5	3	いいえ	
S14	3/5	3	いいえ	
S15	3/5	3	いいえ	
S16	3/5	3	いいえ	
S17	3/5	3	いいえ	
S18	3/5	3	いいえ	
S19	3/5	2	いいえ	
S20	3/5	3	いいえ	
S21	3/5	3	いいえ	
S22	3/5	3	いいえ	
S23	3/5	3	いいえ	
S24	3/5	3	いいえ	リスク認識（3）
S25	3/5	3	いいえ	
S26	3/5	3	いいえ	

候補者比較根拠 / 4

この実行の記録から取得した追加の記述型ビュー。検証された採用基準や発行された評価ではありません。

バンク内26シナリオの平均と上位・下位3分の1の差

コホート比較データを使用できません（この実行の記録のみ表示）。

読み方: 各シナリオの平均回答評価と上位・下位3分位の差です。各人の他の回答から構成します（n≥12のみ）。設問の検討であり、候補者の採点ではありません。

回答の質 · 4つの特性

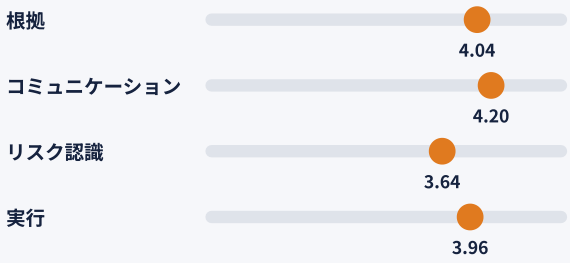
管理されたシナリオ全般で評価が同じです。

シナリオ × 4つの回答品質特性 (1–5)

	根拠	コミュニケーション	リスク認識	実行	総合
① ITプロジェクトのリソース不足	4	5	4	4	3
② 供給遅延が製品品質に影響	今回の適応型進行で実施されていません				–
③ 供給遅延が製品品質に影響	4	4	4	4	3
④ 供給問題によるプロジェクト遅延	4	4	1	4	3
⑤ ソフトウェア開発の遅延管理	4	4	4	4	3
⑥ ITプロジェクトのリソース課題	4	4	3	4	3
⑦ ITプロジェクトのリソース課題	4	5	4	4	3
⑧ プロジェクトの予期せぬ技術的問題	4	4	4	4	3
⑨ プロジェクトでの品質と締切のバランス	4	4	1	4	3
⑩ 供給問題によるプロジェクト遅延	4	4	4	4	3
⑪ クライアントの期待とリソース管理	4	4	4	4	3
⑫ チームメンバーの病気によるリソース不足	4	4	4	4	3
⑬ ソフトウェア開発の遅延管理	4	4	4	4	3
⑭ リソース制約下でのプロジェクト管理	4	4	4	4	3

左のカラーバー = シナリオが測定したコンピテンシー · 緑 4–5 · 黄 3 · 赤 1–2 · 全体 = そのシナリオの有効性

特性平均 · この候補者



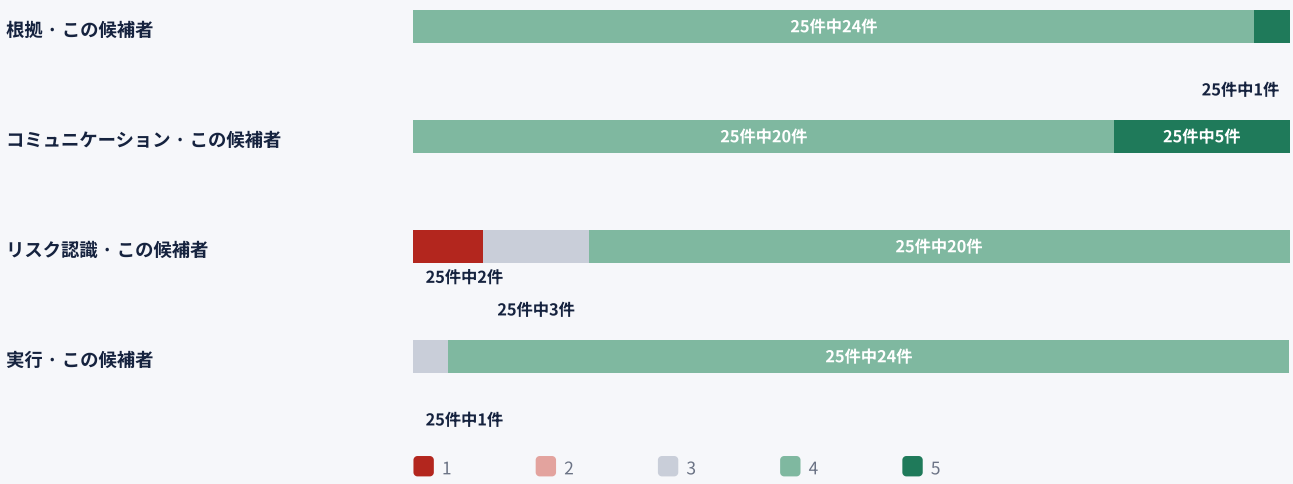
オレンジは候補者の平均（全実施シナリオ）

コホート比較データを使用できません（この実行の記録のみ表示）。

パターン

- 根拠: (22)で最高5; ① ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ (21) (23) (24) (25) (26)で最低4.
- コミュニケーション: ① ⑦ (22) (25) (26)で最高5; ③ ④ ⑤ ⑥ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ (21) (23) (24)で最低4.
- リスク認識: ① ③ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ (22) (23) (25) (26)で最高4; ④⑨で最低1.
- 実行: ① ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ (22) (23) (24) (25) (26)で最高4; (21)で最低3.

特性スコア分布: この候補者、実施されたシナリオ 25 件 (1–5)



証拠に基づく・判決ではありません

回答の質・4つの特性・続き

シナリオ×回答品質4特性（1–5）

	根拠	コミュニケーション	リスク認識	実行	総合
⑮ 遅延した部品供給の管理	4	4	4	4	3
⑯ 品質とリソースのバランス	4	4	4	4	3
⑰ リソース不足の管理	4	4	4	4	3
⑱ 技術的な問題と納期への対応	4	4	4	4	3
⑲ プロジェクト遅延と顧客期待への対応	4	4	4	4	3
⑳ ITプロジェクトのリソース不足	4	4	4	4	3
㉑ ソフトウェア開発の技術的課題	4	4	3	3	3
㉒ ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー	5	5	4	4	3
㉓ クライアントのニーズとチームの健康のバランス	4	4	4	4	3
㉔ 供給遅延が製品品質に影響	4	4	3	4	3
㉕ ITプロジェクトのリソース不足	4	5	4	4	3
㉖ プロジェクト管理における品質対納期	4	5	4	4	3

回答の質の特性 / 1

コンピテンシー区間は各コンピテンシーの事後分布から得た90%区間です。観察が1回のみのコンピテンシーは参考値で、区間はありません。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンクは26シナリオです。この実行は25シナリオの後にカバレッジと精度の基準を満たしたため停止しました。

ソース台帳・シナリオごとに1行

シナリオ別生成 1–5 回答品質入力 4個。次のシートは同じ 100 入力(実施されたシナリオ 25 件 x 4)をヒートマップで示します。業務特性評価ではありません。

ID	シナリオ	グループ	証拠	コミュニケーション	リスク	実行	効率
S01	ITプロジェクトのリソース不足	C5	4	5	4	4	3
S02	供給遅延が製品品質に影響 （未実施）	C4	–	–	–	–	–
S03	供給遅延が製品品質に影響	C4	4	4	4	4	3
S04	供給問題によるプロジェクト遅延	C4	4	4	1	4	3
S05	ソフトウェア開発の遅延管理	C1	4	4	4	4	3
S06	ITプロジェクトのリソース課題	C3	4	4	3	4	3
S07	ITプロジェクトのリソース課題	C3	4	5	4	4	3
S08	プロジェクトの予期せぬ技術的問題	C2	4	4	4	4	3
S09	プロジェクトでの品質と締切のバランス	C1	4	4	1	4	3
S10	供給問題によるプロジェクト遅延	C4	4	4	4	4	3
S11	クライアントの期待とリソース管理	C2	4	4	4	4	3
S12	チームメンバーの病気によるリソース不足	C5	4	4	4	4	3
S13	ソフトウェア開発の遅延管理	C1	4	4	4	4	3
S14	リソース制約下でのプロジェクト管理	C5	4	4	4	4	3

グループコード(付与済み、推論ではありません): C1 コミュニケーション, C2 オーナーシップと責任, C3 問題解決, C4 コラボレーション, C5 適応力。効果性は別途生成された1–5の効果性入力であり、4つの特性入力の平均ではありません。

比較に値する2つの回答

S22(ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー)の回答品質入力は5/5/4/4、効果性は3です。 S04(供給問題によるプロジェクト遅延)の回答品質入力は4/4/1/4、効果性は3です。 質問が異なるため、この差は原因の根拠ではありません。

証拠に基づく・判決ではありません

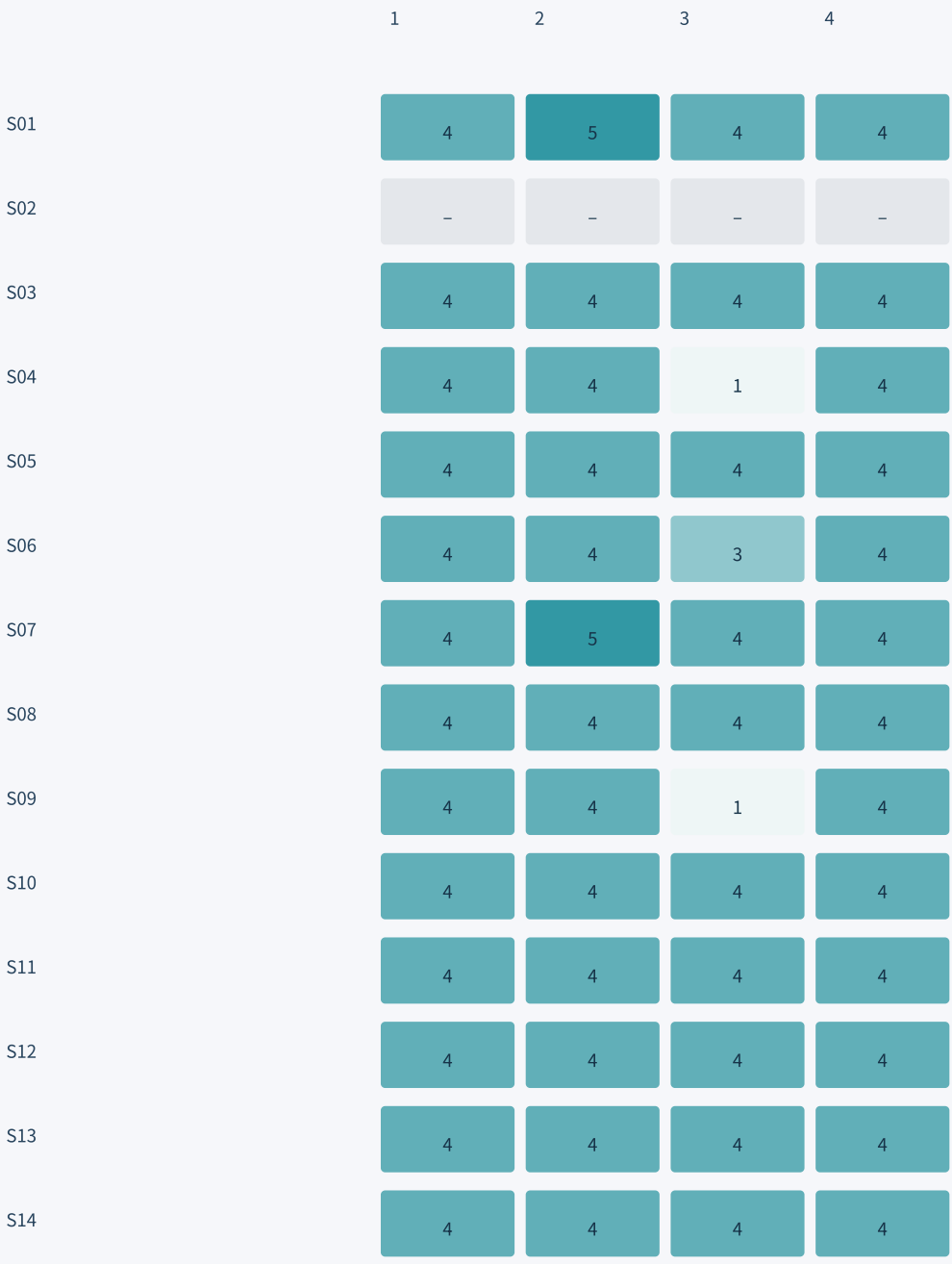
回答の質の特性 / 1・続き

出典一覧・続き

ID	シナリオ	グループ	根拠	伝達	リスク	実行	有効性
S15	遅延した部品供給の管理	C4	4	4	4	4	3
S16	品質とリソースのバランス	C3	4	4	4	4	3
S17	リソース不足の管理	C2	4	4	4	4	3
S18	技術的な問題と納期への対応	C2	4	4	4	4	3
S19	プロジェクト遅延と顧客期待への対応	C1	4	4	4	4	3
S20	ITプロジェクトのリソース不足	C5	4	4	4	4	3
S21	ソフトウェア開発の技術的課題	C3	4	4	3	3	3
S22	ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー	C3	5	5	4	4	3
S23	クライアントのニーズとチームの健康のバランス	C2	4	4	4	4	3
S24	供給遅延が製品品質に影響	C4	4	4	3	4	3
S25	ITプロジェクトのリソース不足	C5	4	5	4	4	3
S26	プロジェクト管理における品質対納期	C1	4	5	4	4	3

回答の質の特性 / 2

シナリオ特性ヒートマップ



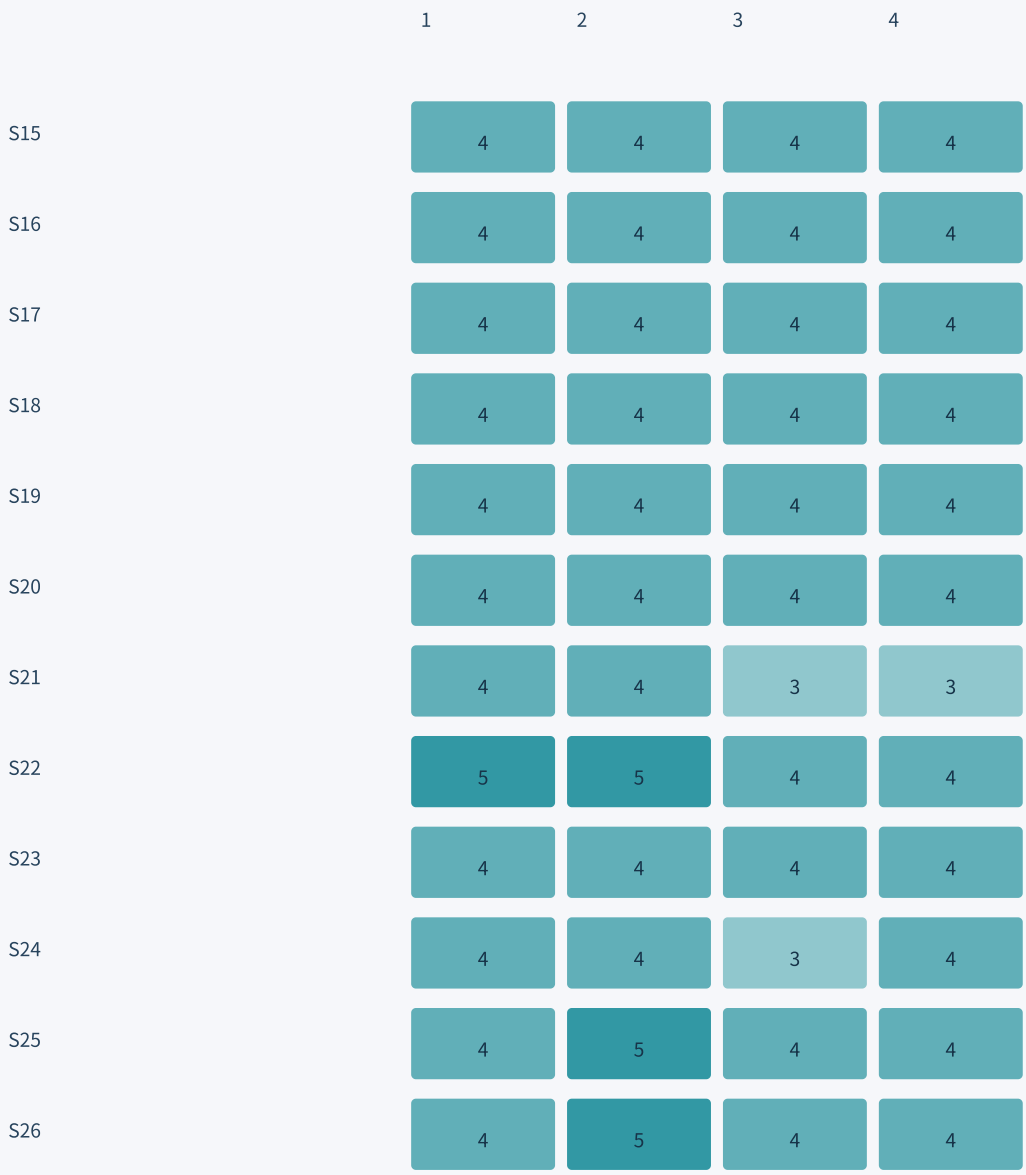
生成された評価 (1-5) 1 2 3 4 5

列: 1 根拠; 2 コミュニケーション; 3 リスク認識; 4 実行。行はシナリオバンクの順序に従います; ダッシュはこの適応型実行でシナリオが問われなかったことを意味します。セルは1–5の生成回答品質入力であり、性格特性ではありません。

残り12件のシナリオは次のページに続きます。

証拠に基づく・判決ではありません

回答の質の特性 / 2・続き



回答の質の特性 / 3

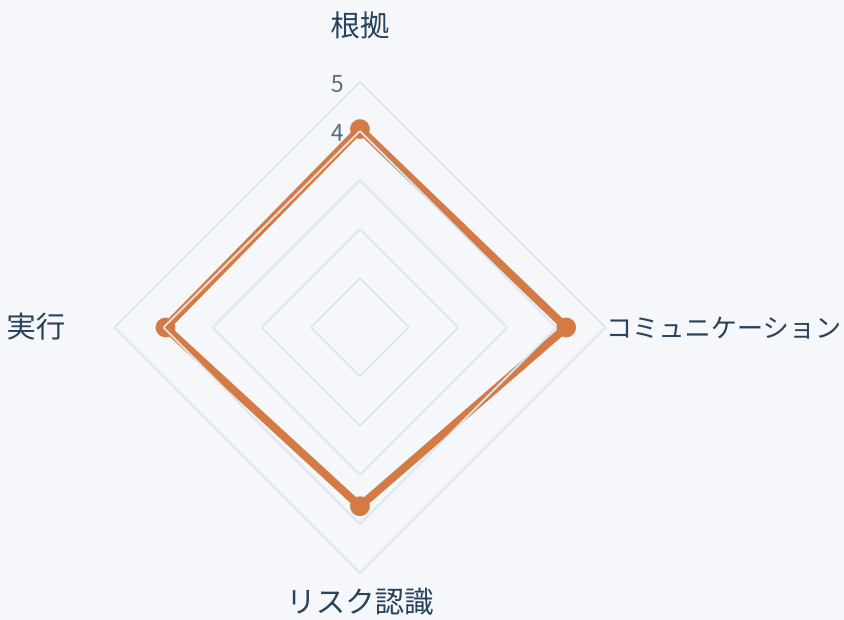
回答の質の入力・1-5スケールの平均

1 根拠: 4.04

2 コミュニケーション: 4.20

3 リスク認識: 3.64

4 実行: 3.96



回答データであり、性格や較正済みコンピテンシーの推論はありません。

適応型の出典、特性レーダー。マスキング済み雇用者向け表示です。数値は生成回答の記述であり業務成績ではありません。

特性平均・候補者と完了者の中央値

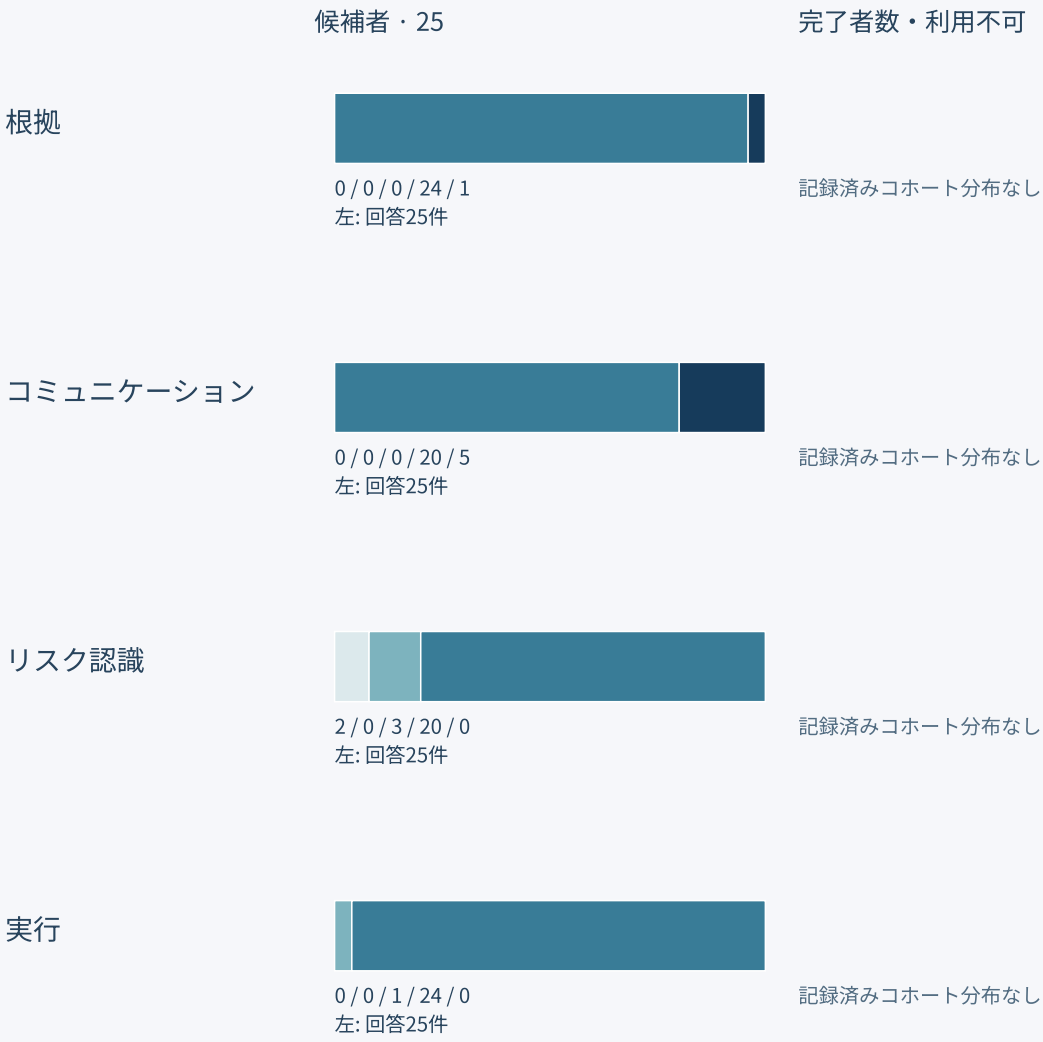
使用不可: コホート参照ソースを使用できません。

参照が変えるもの

使用不可: コホート参照なしで平均-中央値の差を推論しません。

回答の質の特性 / 4

4つの回答品質特性・完全な5レベル分布



評価1 2 3 4 5・各行はその回答集合内の割合です。

1 2 3 4 5

各特性には記録された候補者評価25件があります。コホート分布は利用できません: エンジンフィードに軸別分布がありません。各バーの合計は100%であり、数は評価順序1/2/3/4/5で表示されます。採用比較ではありません。

読み方案内: 各バーは5つの評価段階にわたる1つの特性の分布であり、候補者の記録された評価25件を示しています。このレポートには完了者の分布はありません。

候補者比較根拠 / 5

この評価の追加記述を見る。検証された採用基準や発行された評価ではありません。

4つの回答特性によるシナリオ

	根拠	伝達力	リスク	実行具体性
S01	4	5	4	4
S02	–	–	–	–
S03	4	4	4	4
S04	4	4	1	4
S05	4	4	4	4
S06	4	4	3	4
S07	4	5	4	4
S08	4	4	4	4
S09	4	4	1	4
S10	4	4	4	4
S11	4	4	4	4
S12	4	4	4	4
S13	4	4	4	4
S14	4	4	4	4

生成された評価 (1-5) 1 2 3 4 5

各セルは生成された1–5の回答品質評価であり、性格特性ではありません。

出典: 候補者回答品質特性評価、バンクシナリオ 26個中25個実施 (ダッシュ = 未実施)

残り12件のシナリオは次のページに続きます。

証拠に基づく・判決ではありません

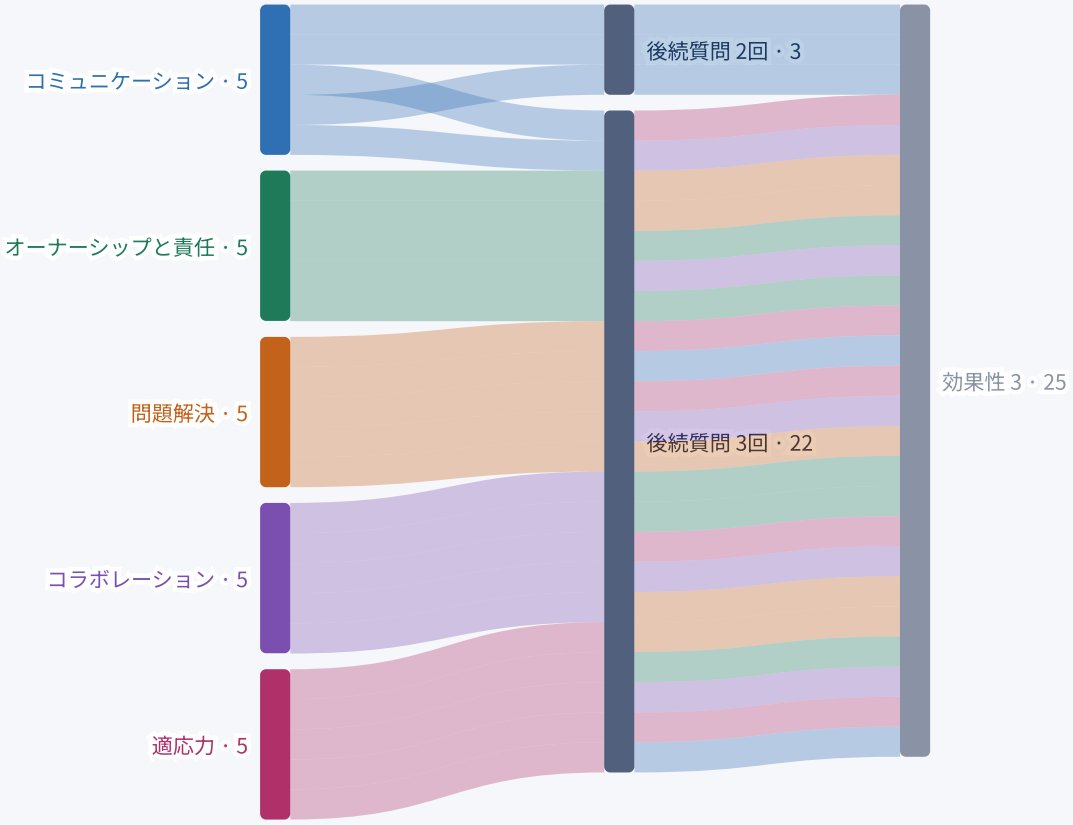
候補者比較根拠 / 5・続き

	根拠	伝達力	リスク	実行具体性
S15	4	4	4	4
S16	4	4	4	4
S17	4	4	4	4
S18	4	4	4	4
S19	4	4	4	4
S20	4	4	4	4
S21	4	4	3	3
S22	5	5	4	4
S23	4	4	4	4
S24	4	4	3	4
S25	4	5	4	4
S26	4	5	4	4

会話の流れ・フォローアップの探り 観察済み 関連性・因果関係ではありません

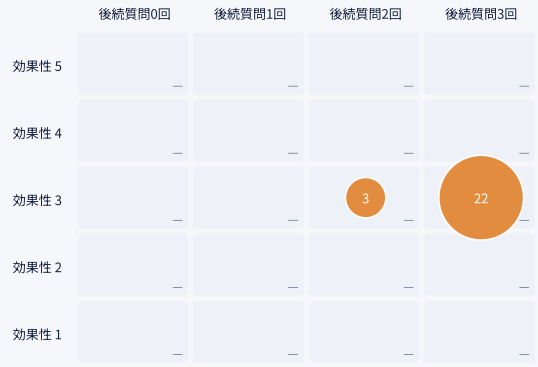
後続質問3回があった実施シナリオ 22件の平均は3.0であり、全体25件の平均は3.00です。

サンキー・コンピテンシー → プローブ → 有効性



シナリオにつき1ストランド。ゴールドのアウトライン＝アンカーチェック。

バブルマトリックス・プローブ × 効果



オレンジ＝この候補者のシナリオ数。

コホート・コンピテンシー別プローブ共有

この受検には検証済みコホート参照集団が接続されていないため、比較を表示しません。集団が接続されると、このパネルにその集団内での候補者の位置を表示します。

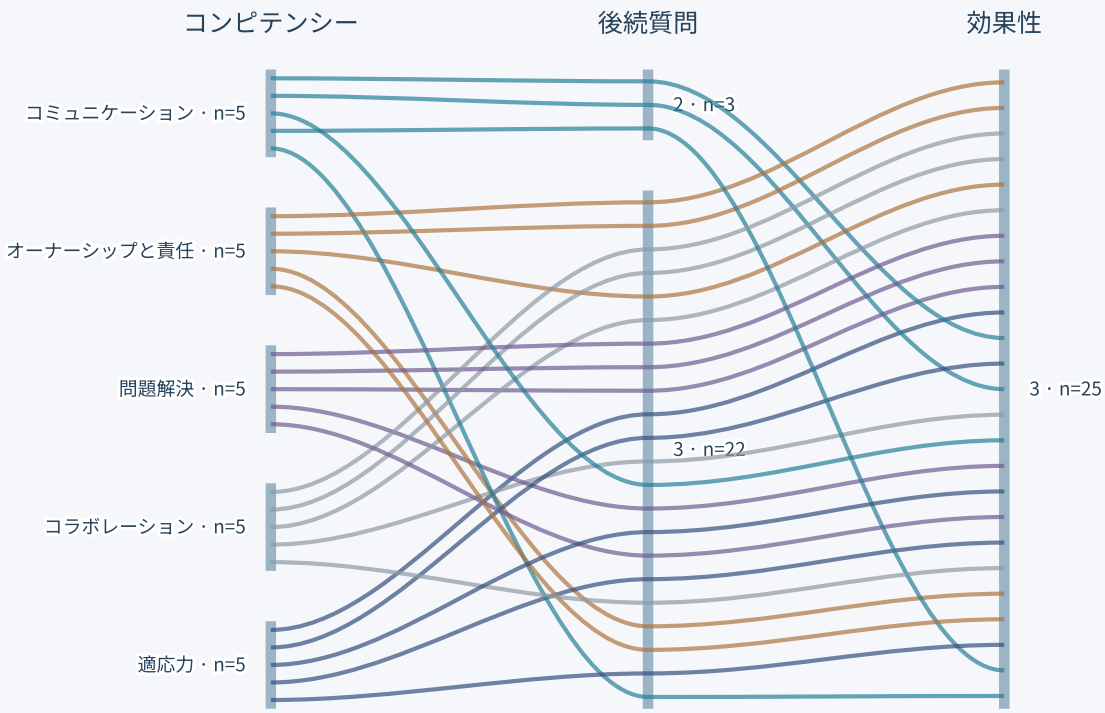
フォローアッププローブ / 1

フォローアップとアンカーカウント

後続質問	72
選択確認	0
全体θ測定誤差SE	0.24

90%区間は各コンピテンシーの事後分布から得られます。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンク内は26シナリオです。この実行は0.30 SE目標を満たし、25個後に中断しました。

実施されたシナリオ 25個の枝・コンピテンシー → 後続質問 → 評価



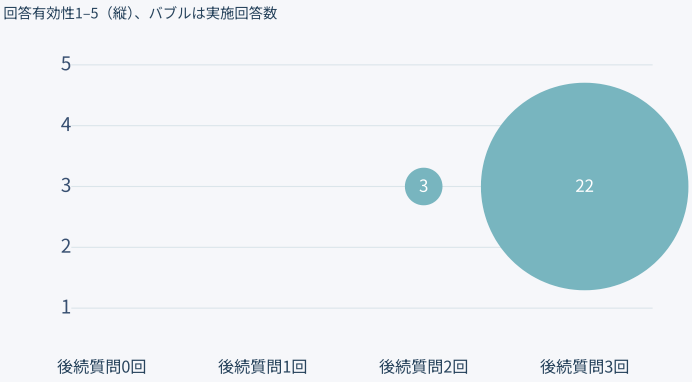
一本の糸 = 生成回答一つ・金色の輪郭 = 選択確認

実施された各シナリオは、すべての列で連結されています。色はコンピテンシーを区別し、金色の輪郭は選択確認 0 件を示します。カテゴリー数は後続質問の総数ではなく、回答数です。交差は因果、能力、業務成果を意味しません。

読み方: 25本のそれぞれはコンピテンシーからの後続質問、評価に続き、金色の輪郭は選択確認0件です。

フォローアッププローブ / 2

プローブ効果バブル



占有セル 2個、実施された回答総数 25個; 空セルは0です。半径 = 3 + 2.5 × 数量(SVG単位)のため、面積は数量に比例しません。正確な頻度は表記された数字をお読みください。

後続質問効果性バブル。マスキングされた雇用者用ビューであり、数値は生成回答を説明するだけで業務成果ではありません。

この受検には検証済みコホート参照集団が接続されていないため、比較を表示しません。集団が接続されると、このパネルにその集団内での候補者の位置を表示します。

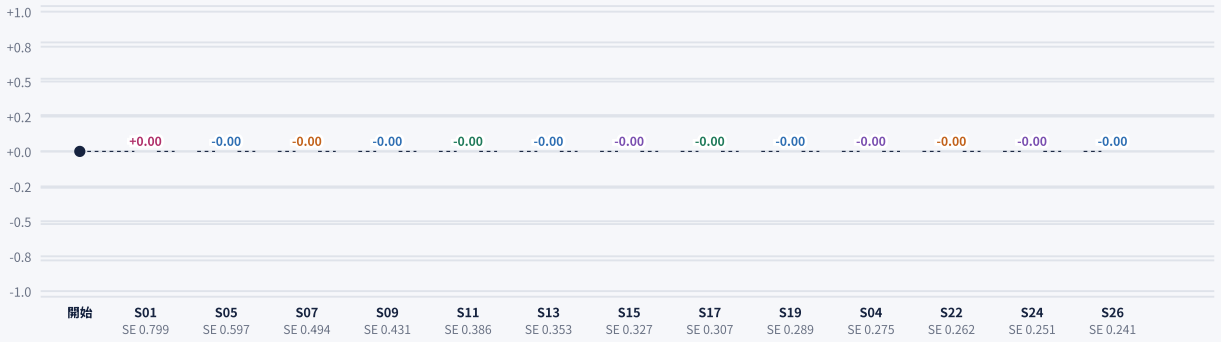
コンピテンシーバーを調査する

この受検には検証済みコホート参照集団が接続されていないため、比較を表示しません。集団が接続されると、このパネルにその集団内での候補者の位置を表示します。

適応型パス · θウォーターフォール 観察済み 記述的

全体SEは最初のシナリオ後の0.799から、25シナリオ後の0.241に低下しました。目標0.30を満たして終了しました。

推定ウォーターフォール・全体θ



棒はシナリオごとのθ推定変化（コンピテンシーの色）、実施順。金色の点はアンカー確認。SEは各シナリオ後の全体θ標準誤差

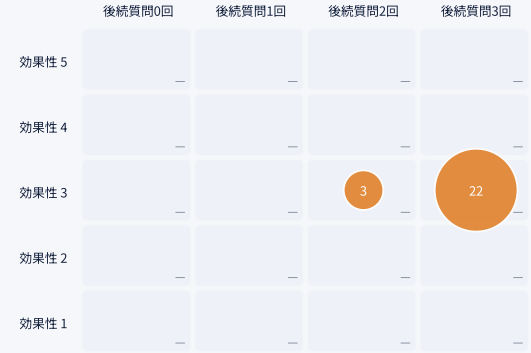
θはエンジン内部尺度（平均0）であり、0–100のコンピテンシー単位ではありません。

コンピテンシーごとの観察



点＝観察1回。2未満は参考用です。

バブル・この候補者のプローブ



同じデータを経路観点で再度見ます。

シナリオストリップ・実施順序



コンピテンシー・効果性 (1–5)・追質問 (点)・選択確認 (金色)。

適応型シナリオパス / 1

90%区間は各コンピテンシーの事後分布から得られます。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンク内は26シナリオです。この実行は0.30 SE目標を満たし、25個後に中断しました。

推定値からシーケンスを分離

コンピテンシーのソーステーブルは7ページに残っています。このセクションでは、実施されたシーケンス、全体のシータ更新、およびコンピテンシー帯の幅を分けています。

実施順	エンジンは回答ごとに次のシナリオを選ぶため、順序と件数は人によって異なります。この候補者は26件中25件に回答しました。全体SEの目標0.30を満たして終了しました。この経路だけでは効率の向上を示せません。
全体θの更新	73ページは25シナリオの段階ごとのEAP変化と累積した全体θの区間を示します。段階ごとの変化や個別コンピテンシーの区間ではありません。
コンピテンシー区間の幅	75ページは各90%区間の幅を示します。全体θのSEとは尺度が異なるため、直接比較しないでください。
シナリオの出典	76ページでは、シナリオ評価、後続質問数、アンカーの実施を確認できます。回答本文は含まれません。

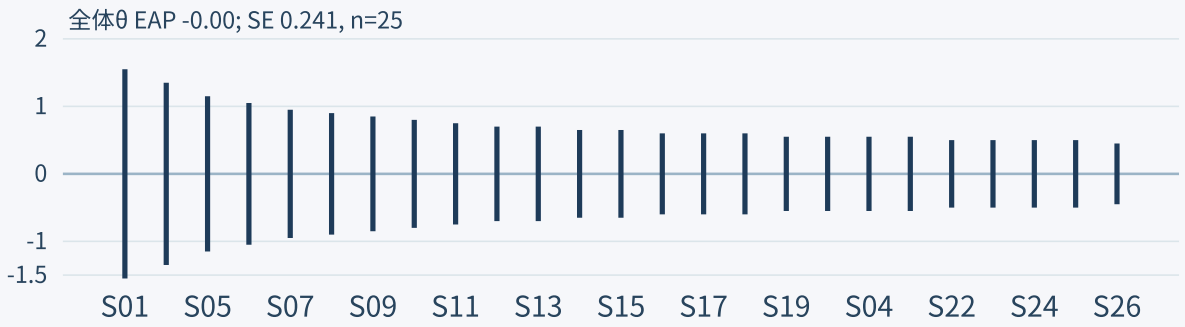
適応型シータ更新 / 2

0.000 累積EAP最大 · S01

-0.000 累積EAP最小 · S26

25 行

EAPの変化と累積不確実性・シータ単位



バーは各EAPの変化を示し、縦線は累積の全体シータの説明的な95%区間を示します。異なる量、共有されたシータ単位。

25段階出所確認

ステップ	Δ EAP	累積EAP	95%区間（例示）
S01	+0.000	0.000	-1.550 to 1.550
S03	-0.000	-0.000	-1.350 to 1.350
S05	-0.000	-0.000	-1.150 to 1.150
S06	-0.000	-0.000	-1.050 to 1.050
S07	-0.000	-0.000	-0.950 to 0.950
S08	-0.000	-0.000	-0.900 to 0.900
S09	-0.000	-0.000	-0.850 to 0.850
S10	-0.000	-0.000	-0.800 to 0.800
S11	-0.000	-0.000	-0.750 to 0.750
S12	-0.000	-0.000	-0.700 to 0.700
S13	-0.000	-0.000	-0.700 to 0.700
S14	-0.000	-0.000	-0.650 to 0.650
S15	-0.000	-0.000	-0.650 to 0.650
S16	-0.000	-0.000	-0.600 to 0.600
S17	-0.000	-0.000	-0.600 to 0.600

残りの10段階の行は次のページに続きます。

読み取り制限

この区間は累積全体θに関するものであり、段階変化の区間ではありません。最終EAPと測定誤差SEは記述型エンジンの産出物です。業務成果、補正されたコンピテンシー不確実性、適応型項目選択の利点を立証しません。

適応型シータ更新 / 2・継続

25段階の出所確認

ステップ	Δ EAP	累積EAP	95%区間（例示）
S18	-0.000	-0.000	-0.600 to 0.600
S19	-0.000	-0.000	-0.550 to 0.550
S20	-0.000	-0.000	-0.550 to 0.550
S04	-0.000	-0.000	-0.550 to 0.550
S21	-0.000	-0.000	-0.550 to 0.550
S22	-0.000	-0.000	-0.500 to 0.500
S23	-0.000	-0.000	-0.500 to 0.500
S24	-0.000	-0.000	-0.500 to 0.500
S25	-0.000	-0.000	-0.500 to 0.500
S26	-0.000	-0.000	-0.450 to 0.450

25段階中16–25段階

適応型シナリオパス / 3

コンピテンシー区間幅

コミュニケーション	0.00
オーナーシップと責任	0.00
問題解決	0.00
コラボレーション	0.00
適応力	0.00

記述型チャートであり、使用前に元データを確認してください。

記述型0–100のスコア尺度で各90%区間の幅であり、補正されたコンピテンシー包括範囲ではありません。

0 20 40 60 70

区間幅: 記述的な0-100スケールでのバンドの上限から下限を引いた値。レールは0-70をカバーしますが、コンピテンシーの不確実性は調整されていません。

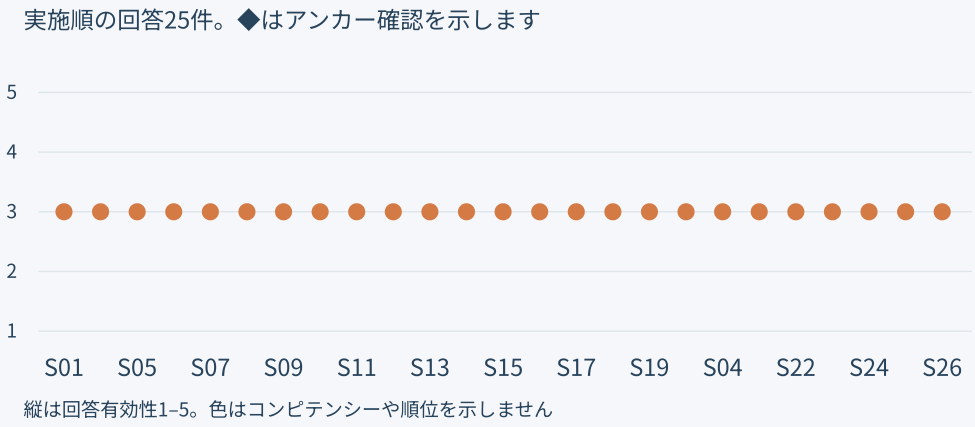
区間の幅は系列とは別に読み取ってください

上記のチャートは各90%帯の幅を示しています。フォローアップ質問の順序や効果を測定するものではありません。

区間幅	各棒は記述スコア尺度の上限と下限の差です。短い棒が、より正確な較正済みコンピテンシー測定を示すわけではありません。
実施順	回答の効果性、後続質問数、アンカーの実施を、76ページの25段階の出典確認と照合してください。
後続質問の分布	後続質問数と回答の効果性の表は70ページにあります。同じ生成回答を記述したもので、後続質問による因果的な改善を示すものではありません。
使用前に	較正済みコンピテンシー区間には人の評価に対する別途検証が必要です。この幅を採用判断や適応型選択の改善の主張に使わないでください。

適応型シナリオパス / 4

シナリオシーケンスストリップ



シナリオシーケンスストリップ。マスクされた雇用者ビュー; 数値は生成された回答を示し、職務遂行を示すものではありません。

25段階出所確認

ステップ	回答の有効性 1-5	プローブカウント	アンカーチェック
S01	3	3	いいえ
S03	3	3	いいえ
S05	3	2	いいえ
S06	3	3	いいえ
S07	3	3	いいえ
S08	3	3	いいえ
S09	3	2	いいえ
S10	3	3	いいえ
S11	3	3	いいえ
S12	3	3	いいえ
S13	3	3	いいえ
S14	3	3	いいえ
S15	3	3	いいえ
S16	3	3	いいえ
S17	3	3	いいえ
S18	3	3	いいえ
S19	3	2	いいえ
S20	3	3	いいえ

残りの7段階の行は次のページに続きます。

質問順に実施された応答 25件の評価、後続質問回数、選択確認実施。回答テキストは含まれていません。業務成果指標や適応型項目選択の利得根拠ではありません。

適応型シナリオパス / 4・継続

25段階の出所確認

ステップ	回答の有効性 1-5	プローブカウント	アンカーチェック
S04	3	3	いいえ
S21	3	3	いいえ
S22	3	3	いいえ
S23	3	3	いいえ
S24	3	3	いいえ
S25	3	3	いいえ
S26	3	3	いいえ

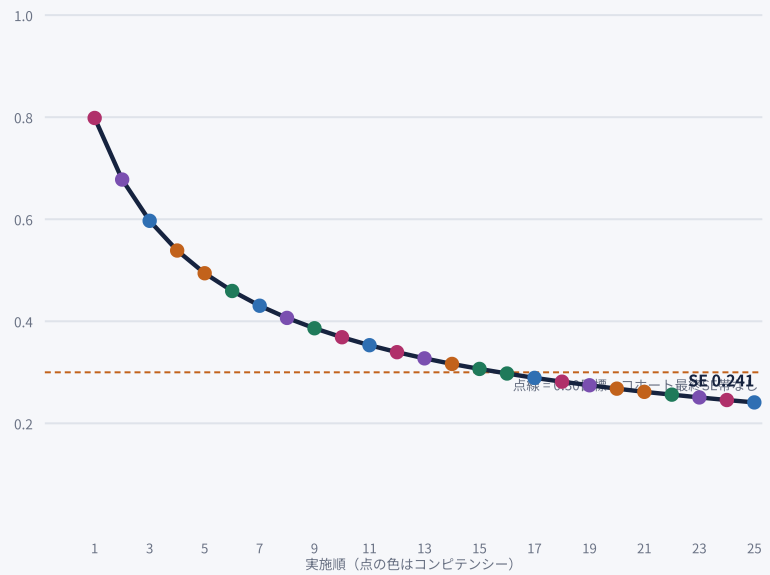
25段階中19–25段階

証拠に基づく・判決ではありません

全体SEは14シナリオ以内に0.799から0.316に低下し、最終値は0.241でした。25シナリオ後に目標0.30を達成しました。

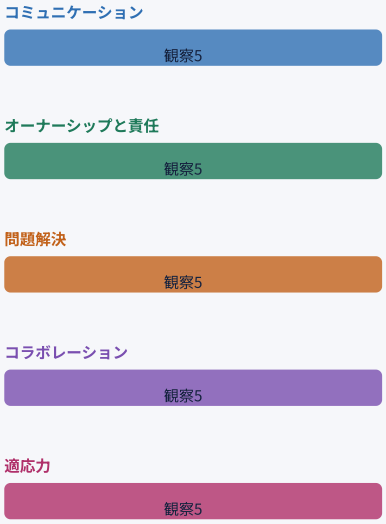
1以降	14 以降	20 以降	最終	コホート中央値 SE
0.799	0.316	0.268	0.241	—
最初のシナリオ	初回値より60%低い	初回値より66%低い	目標 0.30 達成・25件実施後終了	コホートデータなし

適応型パス・SE低下



SEは各シナリオ後の全体θ推定の標準誤差であり、コンピテンシーレベルの不確実性ではありません。

コンピテンシーごとの観察



実行がどのように停止したか

ルール	この候補者
目標 SE ≤ 0.30	充足・最終SE 0.241
1人当たり最大27シナリオ	未到達・25件以降終了
観察2未満のコンピテンシー	なし

0.30 SE 目標達成により 27個の最大値前に終了しました。

このページを読む

・面接で取り扱ってください (面接キット参照)
・段階的減少はこの候補者の適応型経路から出たものであり、一度の進行が選抜利益を示すものではありません

シナリオごとのエラードロップ

#	シナリオ	コンピテンシー	SE	削除	#	シナリオ	コンピテンシー	SE	削除
1	ITプロジェクトのリソース不足	適応力	0.799	—	8	供給問題によるプロジェクト遅延	コラボレーション	0.407	−0.024
2	供給遅延が製品品質に影響	コラボレーション	0.678	−0.121	9	クライアントの期待とリソース管理	オーナーシップと責任	0.386	−0.020
3	ソフトウェア開発の遅延管理	コミュニケーション	0.597	−0.081					
4	ITプロジェクトのリソース課題	問題解決	0.539	−0.058					
5	ITプロジェクトのリソース課題	問題解決	0.494	−0.044					
6	プロジェクトの予期せぬ技術的問題	オーナーシップと責任	0.459	−0.035					
7	プロジェクトでの品質と締切のバランス	コミュニケーション	0.431	−0.029					

最初のシナリオがエラーを最も削減します; その後の各シナリオは追加効果が少なくなります。

証拠に基づく・判決ではありません

測定精密度の詳細・続き

#	シナリオ	コンピテンシー	SE	減少
10	チームメンバーの病気によるリソース不足	適応力	0.369	−0.018
11	ソフトウェア開発の遅延管理	コミュニケーション	0.353	−0.015
12	リソース制約下でのプロジェクト管理	適応力	0.340	−0.014
13	遅延した部品供給の管理	コラボレーション	0.327	−0.012
14	品質とリソースのバランス	問題解決	0.316	−0.011
15	リソース不足の管理	オーナーシップと責任	0.307	−0.010
16	技術的な問題と納期への対応	オーナーシップと責任	0.298	−0.009
17	プロジェクト遅延と顧客期待への対応	コミュニケーション	0.289	−0.008
18	ITプロジェクトのリソース不足	適応力	0.282	−0.008
19	供給問題によるプロジェクト遅延	コラボレーション	0.275	−0.007
20	ソフトウェア開発の技術的課題	問題解決	0.268	−0.007
21	ソフトウェアプロジェクトにおける納期のプレッシャー	問題解決	0.262	−0.006
22	クライアントのニーズとチームの健康のバランス	オーナーシップと責任	0.256	−0.006
23	供給遅延が製品品質に影響	コラボレーション	0.251	−0.005
24	ITプロジェクトのリソース不足	適応力	0.246	−0.005
25	プロジェクト管理における品質対納期	コミュニケーション	0.241	−0.005

測定精密度 / 1

90%区間は各コンピテンシーの事後分布から得られます。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンク内は26シナリオです。この実行は0.30 SE目標を満たし、25個後に中断しました。

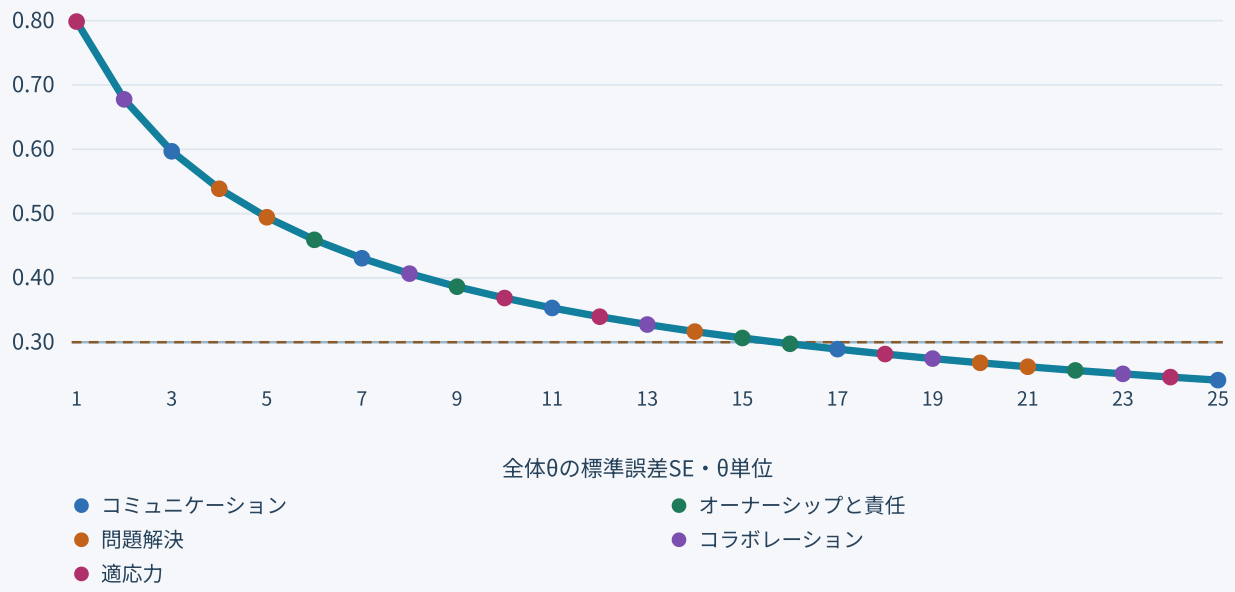
不確実性が指し示す対象

コンピテンシー値と区間の出典表は7ページにあります。全体 θ 測定誤差 SE と 90% コンピテンシー区間は異なる量です。

全体θの標準誤差SE	109ページは適応型の回答が蓄積するにつれて変化する全体θのSEを示します。単位はθであり、コンピテンシースコアの差ではありません。
90%区間	区間幅はエンジンの各コンピテンシーの事後分布に基づきます。較正済みの被覆率や観察された仕事の根拠ではありません。
較正の確認	実際のコンピテンシー区間には独立した人の評価と被覆率研究が必要です。現在の区間幅はその検証の代わりにはなりません。
比較の限界	観察が少ないコンピテンシーを区間幅だけで解釈しないでください。観察が1回のみのコンピテンシーはありません。

測定精密度 / 2

全体的なθ標準誤差 ・ 13.1



点の色はコンピテンシーを示します。コホートデータがないため最終SEの帯は表示しません。茶色の破線は目標0.30、最終SEは0.241です。25シナリオ後、目標は達成でした。単位は全体θであり、コンピテンシー別90%区間ではありません。

コンピテンシー90%帯域幅 ・ 13.2

コミュニケーション	0.00
オーナーシップと責任	0.00
問題解決	0.00
コラボレーション	0.00
適応力	0.00

0 25 50 75 100

幅: 記述型0–100点数尺度で区間上限から下限を引いたもの。レールは0–100。

記述型0–100の尺度の区間幅であり、補正されたコンピテンシー別包括範囲ではありません。

記録されたコンピテンシー

記録スコアと観察数（1）

問題解決: 記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。 オーナーシップと責任: 記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。 コミュニケーション: 記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。

問題解決

記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。

オーナーシップと責任

記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。

コミュニケーション

記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。

記録スコアと観察数（2）

適応力: 記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。 コラボレーション: 記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。

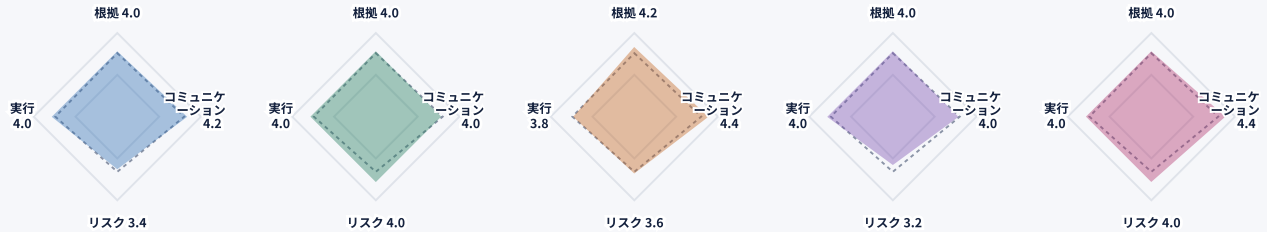
適応力

記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。

コラボレーション

記録された平均値は2.0です。観察数は15件です。

コンピテンシーごとの特性プロファイル・小さなマルチプル



コミュニケーション
観察スコア: 全シナリオ同一（3）

オーナーシップと責任
観察スコア: 全シナリオ同一（3）

問題解決
観察スコア: 全シナリオ同一（3）

コラボレーション
観察スコア: 全シナリオ同一（3）

適応力
観察スコア: 全シナリオ同一（3）

選択された生成回答の評価

90%区間は各コンピテンシーの事後分布から得られます。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンク内は26シナリオです。この実行は0.30 SE目標を満たし、25個後に中断しました。

マスクされたシナリオ評価の選択・実施されたシナリオのみ

S17. リソース不足の管理	限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。関連のない個人情報を判断に使用しないでください。
S26. プロジェクト管理における品質対納期	限定されたマスキングビュー。シナリオ回答はこの雇用主用レポートから省略しました。効果性: 3/5。関連のない個人情報を判断に使用しないでください。
S02	今回の適応型進行で実施されていません（未実施）。これらのシナリオには評価がありません。

評価の概要・1–5の有効性スケール

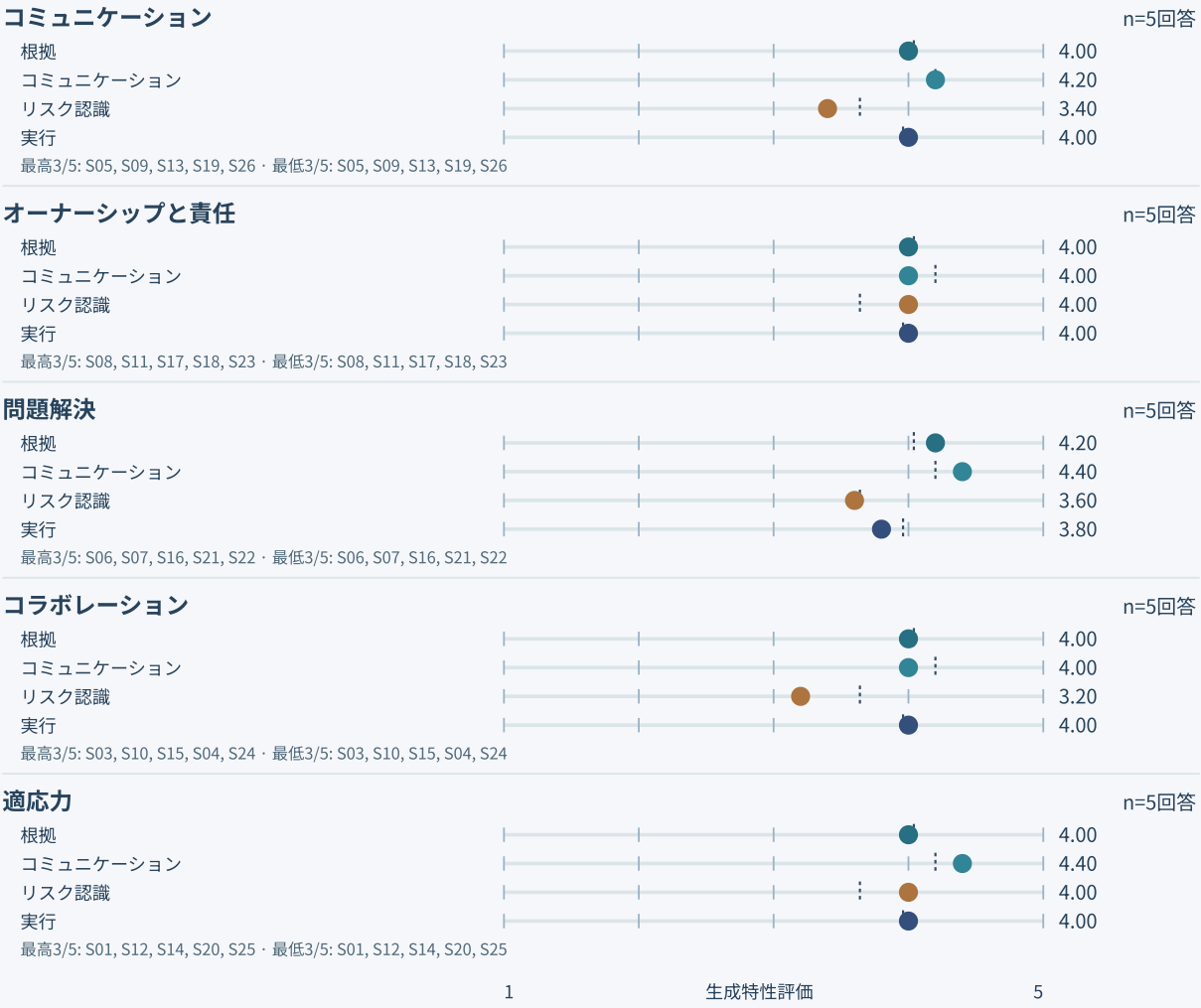


読み方。 大きな点 = 該当マスキングされた回答の1–5効果性評価。評価はコンピテンシースコアではなく、区間もありません。 S02は未実施のため評価がありません。

コンピテンシー別特性プロファイル / 2

生成された1–5の回答品質特性であり、候補者診断ではありません。

5つのコンピテンシー・4つの記録された特性平均



点は、各コンピテンシーにおける回答品質の4特性の平均値（1–5）を示します。破線の縦目盛りは、実施した25件の回答における本人の特性別平均です。コホートの基準値でも、0–100のコンピテンシースコアでもありません。最高・最低は、特性評価や業務成績ではなく、効果性評価が同点のシナリオをすべて示します。

この候補者の記録されたスコアに対するコホート分布を見る

バイオリン + ビースウォーム

コホート比較には完了者 2 名以上が必要です · 記録された完了者 0 名。コホートマークは描画されません。

候補者の記録されたスコア（コホート比較なし）：

- 25.00
- 25.00
- 25.00
- 25.00
- 25.00

コホートソースが記録されていないため、候補者の記録値のみを表示します。

リッジライン · コンピテンシーごとのコホート分布

コホート比較には完了者 2 名以上が必要です · 記録された完了者 0 名。コホートマークは描画されません。

ダンベル · スコア ↔ コホート中央値

コホート比較には完了者 2 名以上が必要です · 記録された完了者 0 名。コホートマークは描画されません。

コホート内の位置 / 1

コンピテンシー区間は各コンピテンシー固有の事後分布から求めた90%区間です。根拠の等級は付けていません。設定上限は27シナリオ、バンク内は26シナリオです。この実行は25シナリオ後に停止しました。記録された理由: 早期終了: カバレッジと精度の基準を満たした。

コホート内の位置・比較前の確認

コンピテンシー値、観察数、および帯のソーステーブルは7ページに残っています。このセクションでは、チャートのスケールと比較範囲を分けており、それらの数値を繰り返していません。

実施シナリオ	25 / 26
中断理由	早期終了: カバレッジと精度の基準を満たした
最終SE / 目標SE	0.241 / 0.300
総プローブ	72
アンカー使用	0
記録平均効果性	3.00

3つのスケール、別々に保持

コンピテンシー分布
0–100 記述的スコア
87–88 ページ

平均と変動性
1–5回答評価: 平均と標準偏差
89 ページ

ランクと同点
コンピテンシー固有のタイ区間
相対比較ページ

読み方。質問を先に決めた後、該当尺度のページのみをお読みください。

コホート内の位置 / 2

完全なコンピテンシーソース: ページ7

このチャートの候補者の値は7ページの記録されたコンピテンシースコアと同じソースです。

全体コンピテンシー分布

コホート比較には完了者 2 名以上が必要です・記録された完了者 0 名。コホートマークは描画されません。

候補者の記録されたスコア（コホート比較なし）：

- 25.00
- 25.00
- 25.00
- 25.00
- 25.00

コホート分布ソースが記録されていないため、候補者記録値のみ表示します。

読み方: 各分布は該当コンピテンシーのコホート完了者スコアであり、表示はこの候補者の記録スコアです。コホートソースがない場合、コホート表示を描きません。

コホート内の位置 / 3

コンピテンシースコア頻度・15.2

コホート比較には完了者 2 名以上が必要です・記録された完了者 0 名。コホートマークは描画されません。

候補者の記録されたスコア（コホート比較なし）：

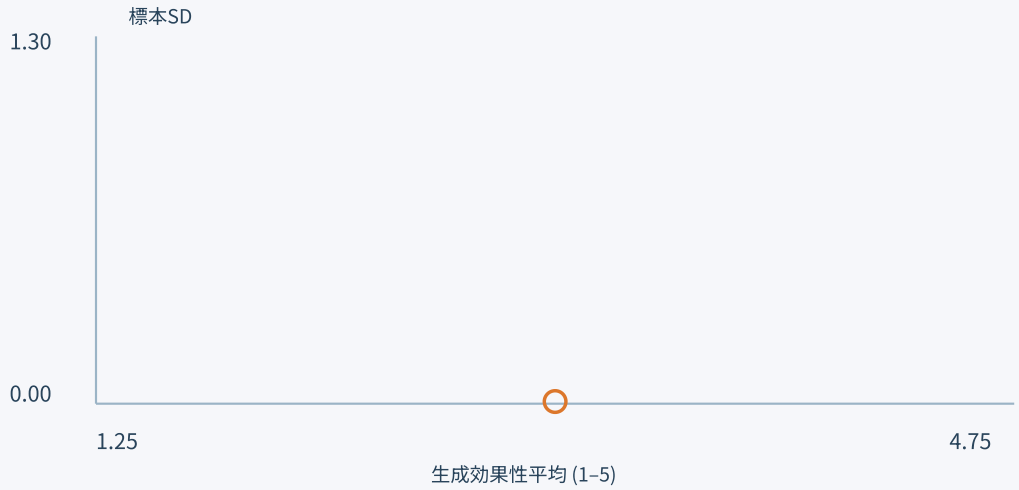
- 25.00
- 25.00
- 25.00
- 25.00
- 25.00

コホート頻度ソースが記録されていないため、応募者記録値のみ表示します。

読み方: 各ヒストグラムはコホート完了者のコンピテンシースコア頻度です。コホートソースがない場合、コホート表示を描きません。

コホート内の位置 / 4

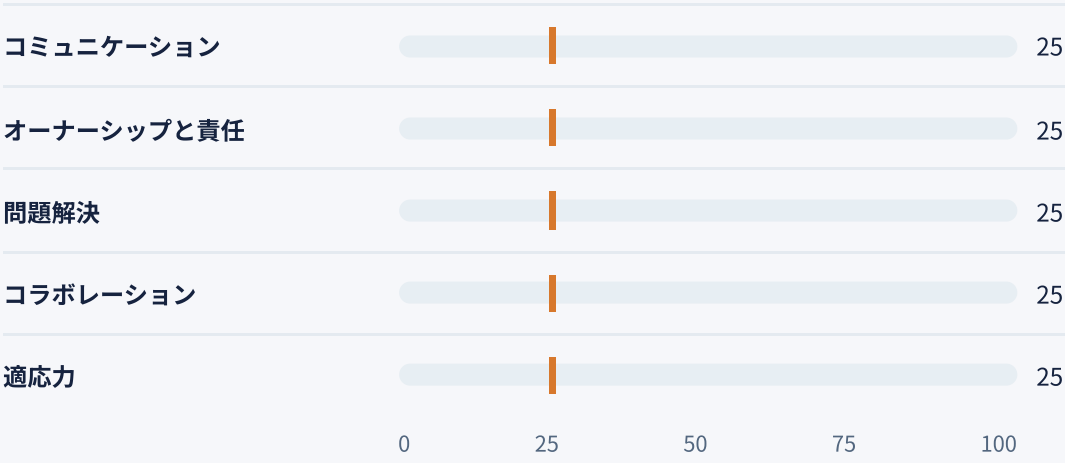
生成された回答の平均と変動 · 15.3



コホート個別点は記録されたソースがないため描きません。 オレンジの円はこの候補者の記録平均と実施シナリオの標本SDです。

> **この候補者の記録された平均効果性:3.00**

コンピテンシーダンベル 15.4



記録スコアはエンジン記録値であり、区間はエンジン90%区間です。

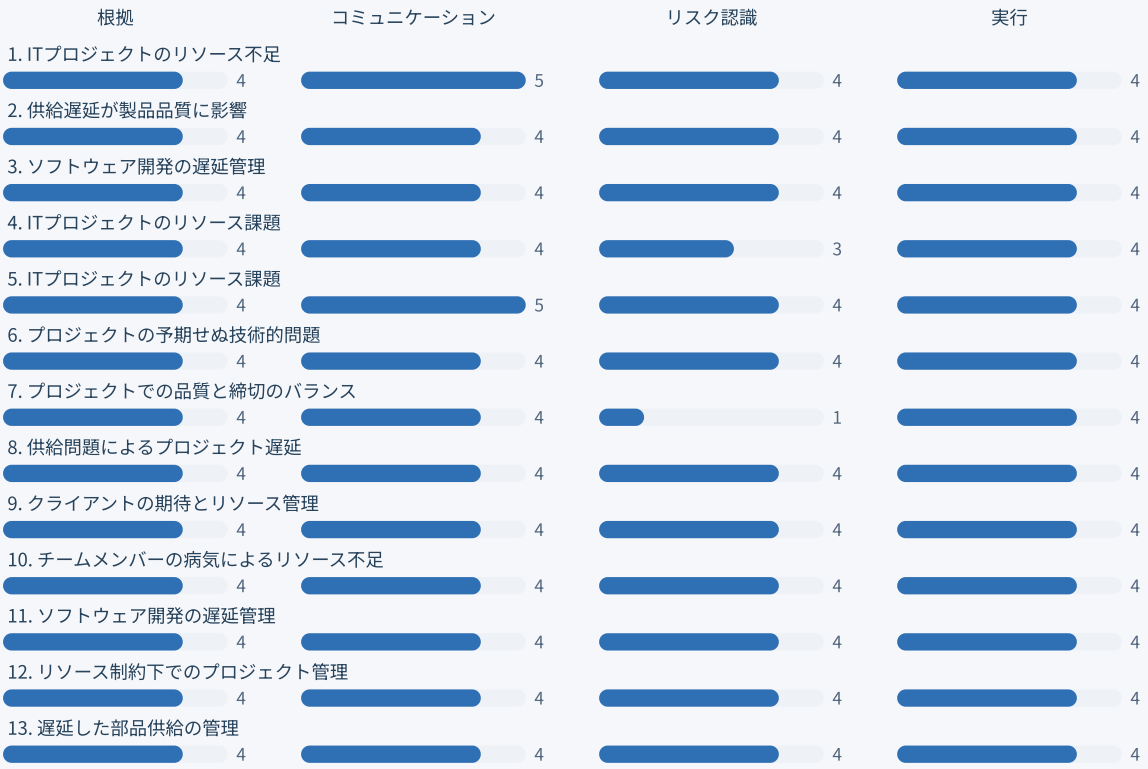
コホート中央値ソースが記録されていません。

候補者比較根拠 / 7

各行は実施されたシナリオ1つであり、各バーは記録されたエンジン4軸セル（1-5）です。候補者単独の表示であり、コホート行ではありません。

候補者記録4軸セル

候補者のシナリオ記録



候補者の四軸平均値（記録済み）

根拠	コミュニケーション	リスク認識	実行
4.04 · 25 観察	4.20 · 25 観察	3.64 · 25 観察	3.96 · 25 観察

読み取りガイド：各行は1つの実施されたシナリオを示し、各バーは記録されたエンジンの四軸セル（1-5）を示します。候補者のみのビュー：これらはコホート行ではありません。 出典: 記録されたシナリオ四軸セル、実施 25 件。

コホート人行は記録されたコホートソースが必要です。

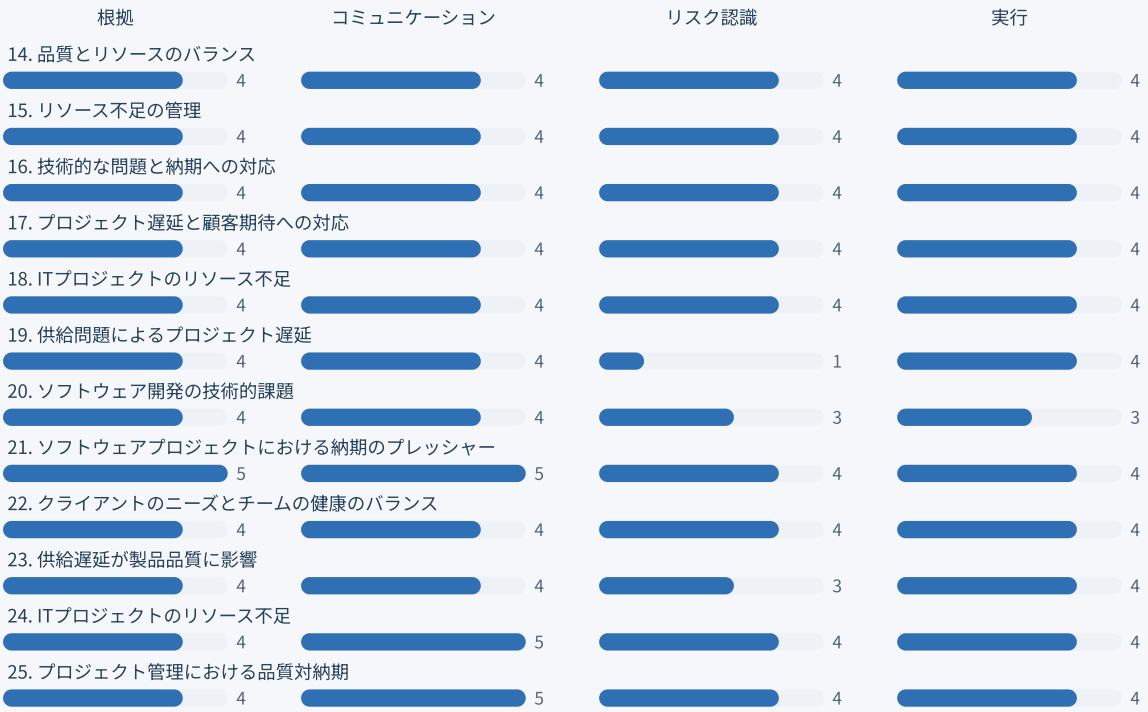
ソース: 記録されたシナリオ4軸セル、実施25件。

候補者比較根拠 / 8

各行は実施されたシナリオ1つであり、各バーは記録されたエンジン4軸セル（1-5）です。候補者単独の表示であり、コホート行ではありません。

候補者記録4軸セル

候補者のシナリオ記録



読み取りガイド：各行は1つの実施されたシナリオを示し、各バーは記録されたエンジンの四軸セル（1-5）を示します。候補者のみのビュー：これらはコホート行ではありません。 出典: 記録されたシナリオ四軸セル、実施 25 件。

コホート人行は記録されたコホートソースが必要です。

ソース: 記録されたシナリオ4軸セル、実施25件。

候補者比較根拠 / 9

各棒はこの候補者のエンジン記録済み90%区間、マーカーは記録スコアです。

順位・同点の要約には記録済みコホートの出典が必要です。

候補者の記録済み90%区間

候補者のシナリオ記録



コミュニケーション	オーナーシップと責任	問題解決	コラボレーション	適応力
記録されたシナリオ 5 件	**記録されたシナリオ 5 件**	**記録されたシナリオ 5 件**	**記録されたシナリオ 5 件**	**記録されたシナリオ 5 件**

各行は記録済みコンピテンシー1つで、マーカーは記録スコアです。

候補者の記録値のみです。

出典: 記録済みコンピテンシースコアとエンジンの90%区間。

読み方: 帯は記録済みの記述区間であり、コホート順位や採用基準ではありません。

コミュニケーションの観察数は15です。

問題解決 候補者が以前のプロジェクトで直面した課題について教えてください。 具体的な事例 詳細を掘り下げる その課題に対してどのようにアプローチしましたか？ コミュニケーション 候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ 具体的な事例 詳細を掘り下げる その行動の結果はどうでしたか？ コラボレーション 候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ 具体的な事例 詳細を掘り下げる その要素はどのように影響しますか？ オーナーシップと責任 候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ 具体的な事例 詳細を掘り下げる その行動の結果はどうでしたか？ 適応力 候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ 具体的な事例 詳細を掘り下げる その要素はどのように影響しますか？

① 問題解決

“候補者が以前のプロジェクトで直面した課題について教えてください。”

強い回答のシグナル	さらに調査するためのシグナル	フォローアップ
具体的な事例	詳細を掘り下げる	“その課題に対してどのようにアプローチしましたか？”

② コミュニケーション

“候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？”

強い回答のシグナル	さらに調査するためのシグナル	フォローアップ
具体的な事例	詳細を掘り下げる	“その行動の結果はどうでしたか？”

③ コラボレーション

“候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？”

強い回答のシグナル	さらに調査するためのシグナル	フォローアップ
具体的な事例	詳細を掘り下げる	“その要素はどのように影響しますか？”

④ オーナーシップと責任

“候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？”

強い回答のシグナル	さらに調査するためのシグナル	フォローアップ
具体的な事例	詳細を掘り下げる	“その行動の結果はどうでしたか？”

⑤ 適応力

“候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？”

強い回答のシグナル	さらに調査するためのシグナル	フォローアップ
具体的な事例	詳細を掘り下げる	“その要素はどのように影響しますか？”

証拠に基づく・判決ではありません

面接・オンボーディングガイド・続き

最初の90日間のオンボーディングアイデア

第1週: 問題解決に関する基本的な知識を確認してください。 第2週: オーナーシップと責任に関する基本的な知識を確認してください。 第3週: コミュニケーションに関する基本的な知識を確認してください。

第1週
問題解決に関する基本的な知識を確認してください。

第2週
オーナーシップと責任に関する基本的な知識を確認してください。

第3週
コミュニケーションに関する基本的な知識を確認してください。

インタビューで避ける

- レポートのスコアを候補者に読み上げる
- 性格や価値観をこのレポートから推測する
- 合計スコアや順位で要約する
- 観察1回のコンピテンシーを弱点と呼ぶ

面接時間の分割

ラポール形成	5′
問題解決	5′
コミュニケーション	4′
コラボレーション	4′
オーナーシップと責任	4′
適応力	4′
質問	4′

面接後

- 面接記録はこのレポートと別に保存
- 観察1回のコンピテンシーから学んだことを記録
- 面接官の合意で決定し、レポートは根拠資料としてのみ使う

各質問の出所

コンピテンシー	記録されたスコア	エンジン90%バンド	観察数
コミュニケーション	25.00	25.0–25.0	15
オーナーシップと責任	25.00	25.0–25.0	15
問題解決	25.00	25.0–25.0	15
コラボレーション	25.00	25.0–25.0	15
適応力	25.00	25.0–25.0	15



各バーは該当コンピテンシーの記録スコア（0-100）であり、観察数は実施されたシナリオ数です。強い回答/追加探索のシグナルは97ページの記録に従います。

面接質問 / 1

このページのテキストは検証された生成記録からのみ来ています。記録がない場合は境界文を表示します。

個別記述スコアのソース表: p. 27。以下の質問と作業チェックは別の草案であり、生成されたスコアに基づく選考や人員配置の決定ではありません。

面接とオンボーディングの質問、判定ではありません

候補者が以前のプロジェクトで直面した課題について教えてください。 その課題に対してどのようにアプローチしましたか？ 候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ その行動の結果はどうでしたか？ 候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ その要素はどのように影響しますか？ 候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ その行動の結果はどうでしたか？ 候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ その要素はどのように影響しますか？

以下に記録されたトピックに結びついた実例を求めます。別途インタビュー記録を作成し、このレポートから職場能力を推測しないでください。

オンボーディングの促進は、本人が開始し、マネージャーが実際の業務を見るまで考慮できません。

避けるべきこと	観察1回のコンピテンシーを弱点と規定したり、面接評価をこのスコアと合わせないでください。

記録された出典の範囲に限定した5つのテーマ

問題解決 コミュニケーション コラボレーション オーナーシップと責任 適応力

記録された面接ガイドに基づく、職務上の根拠を確認するための質問案です。採用を推奨するものではありません。

問題解決	**質問:** 候補者が以前のプロジェクトで直面した課題について教えてください。 **後続質問:** その課題に対してどのようにアプローチしましたか？
コミュニケーション	**質問:** 候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ **後続質問:** その行動の結果はどうでしたか？
コラボレーション	**質問:** 候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ **後続質問:** その要素はどのように影響しますか？
オーナーシップと責任	**質問:** 候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ **後続質問:** その行動の結果はどうでしたか？
適応力	**質問:** 候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ **後続質問:** その要素はどのように影響しますか？

面接以後 / 2

独立した面接ノートを別途保管してください。実際の業務の根拠とマネージャーの合意が得られた後にのみ、オンボーディングプランが開始されます。

オプションの30/60/90日業務チェック

第4週: コラボレーションに関する進捗を確認してください。 第5週: 適応力に関する進捗を確認してください。 第6週: 問題解決に関する進捗を確認してください。

このエクスポートには記録された30-60-90計画がありません。

安全性とプロセス

スコアを声に出して読み上げないでください	生成されたレポートのスコアを候補者に面接スクリプトとして読み上げないでください。同じ職務に基づく質問をし、実際の例を別途記録してください。これらの生成されたスコアは採用の判定ではありません。
推測しないでください	この生成されたレポートには、性格、価値観、合成ランク、または一項目の弱点は含まれていません。
別々に記録	質問、職務の根拠、面接官の評価を生成されたスコアとは別に記録してください。
決定	事前に合意された職務ベースのルーブリックと面接官のレビューを使用してください。この生成されたソースは決定の根拠ではありません。

独立した面接記録 - 空白のワークシート

面接者の実例と面接官の職務に基づく観察を記録します。これらの空欄は生成された根拠、評価、または採用の推薦ではありません。このレポートとは別に保管してください。

優先順位のトレードオフ

実例 _____

職務に基づく観察 _____

データ対フィールド

実例 _____

職務に基づく観察 _____

ポリシー例外

実例 _____

職務に基づく観察 _____

シニア更新

実例 _____

職務に基づく観察 _____

面接キット ガイダンス・スコアではありません

記録されたスコアと観察数を、面接の質問準備に使います。この出力に面接ガイドの記録がない場合、回答内容に基づく確認の手がかりは利用できません。このスコアだけで職務上の強みや弱みは判断できません。

コミュニケーション
候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？
その行動の結果はどうでしたか？
具体的な事例・詳細を掘り下げる
候補者のコミュニケーションスキルを確認してください。

オーナーシップと責任
候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？
その行動の結果はどうでしたか？
具体的な事例・詳細を掘り下げる
候補者のオーナーシップと責任を確認してください。

問題解決
候補者が以前のプロジェクトで直面した課題について教えてください。
その課題に対してどのようにアプローチしましたか？
具体的な事例・詳細を掘り下げる
候補者の問題解決アプローチを確認してください。

コラボレーション
候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？
その要素はどのように影響しますか？
具体的な事例・詳細を掘り下げる
候補者の意思決定プロセスを確認してください。

適応力
候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？
その要素はどのように影響しますか？
具体的な事例・詳細を掘り下げる
候補者の適応力を確認してください。

候補者が以前のプロジェクトで直面した課題について教えてください。 その課題に対してどのようにアプローチしましたか？ 候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ その行動の結果はどうでしたか？ 候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ その要素はどのように影響しますか？ 候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ その行動の結果はどうでしたか？ 候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ その要素はどのように影響しますか？

具体的な事例: 詳細を掘り下げる: 候補者の問題解決アプローチを確認してください。 具体的な事例: 詳細を掘り下げる: 候補者のコミュニケーションスキルを確認してください。 具体的な事例: 詳細を掘り下げる: 候補者の意思決定プロセスを確認してください。 具体的な事例: 詳細を掘り下げる: 候補者のオーナーシップと責任を確認してください。 具体的な事例: 詳細を掘り下げる: 候補者の適応力を確認してください。

面接官シート

コンピテンシー	1	2	3	4	5	注記
コミュニケーション	☐	☐	☐	☐	☐	
オーナーシップと責任	☐	☐	☐	☐	☐	
問題解決	☐	☐	☐	☐	☐	

面接の評価をこのレポートのスコアと統合しないでください。別々に記録してください。

証拠に基づく・判決ではありません

面接キット・続き

コンピテンシーごとの証拠量

	観察	90%区間幅 (点)	
コミュニケーション	● ● ● ● ● ● ● ● ●		0.0
オーナーシップと責任	● ● ● ● ● ● ● ● ●		0.0
問題解決	● ● ● ● ● ● ● ● ●		0.0
コラボレーション	● ● ● ● ● ● ● ● ●		0.0
適応力	● ● ● ● ● ● ● ● ●		0.0

観測数が少ない順にソートされています。幅が広いバンドは情報が少ないことを意味し、スコアが低いことを意味しません。幅のスケールは0から100ポイントです。ガイダンスであり、スコアではありません。

面接キット・プロンプト5件 / 1

個別記述スコアのソース表: p. 27。以下の質問と作業チェックは別の草案であり、生成されたスコアに基づく選考や人員配置の決定ではありません。

面接官記録 - レポートとは別

候補者の問題解決アプローチを確認してください。 候補者のコミュニケーションスキルを確認してください。 候補者の意思決定プロセスを確認してください。 候補者のオーナーシップと責任を確認してください。 候補者の適応力を確認してください。

観察された面接の根拠と質問を記録します。評価は面接官が提供するまで空白のままにします。

コミュニケーション	観察した事例: _____ 独立評価: ___ / 5
オーナーシップと責任	観察した事例: _____ 独立評価: ___ / 5
問題解決	観察した事例: _____ 独立評価: ___ / 5

職務根拠プロンプト5件

候補者が以前のプロジェクトで直面した課題について教えてください。 その課題に対してどのようにアプローチしましたか？ 候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ その行動の結果はどうでしたか？ 候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ その要素はどのように影響しますか？ 候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ その行動の結果はどうでしたか？ 候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ その要素はどのように影響しますか？

同じ核心的な質問をし、共有された職務ベースのルーブリックを使用します。これらはドラフトのプロンプトであり、検証されたスコアリングキーではありません。

コミュニケーション	候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ その行動の結果はどうでしたか？
オーナーシップと責任	候補者がチームの信頼を築くために行った具体的な行動は何ですか？ その行動の結果はどうでしたか？
問題解決	候補者が以前のプロジェクトで直面した課題について教えてください。 その課題に対してどのようにアプローチしましたか？
コラボレーション	候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ その要素はどのように影響しますか？
適応力	候補者が優先順位を決定する際に考慮する要素は何ですか？ その要素はどのように影響しますか？

読み取りガイド: 面接官の記録は面接官が記入するまで空白のままです。5つのプロンプトは草案であり、生成されたスコアに基づく選択決定ではありません。

独立面接記録 / 2

ワークシート（空白）。面接評価はレポートスコアとして生成されず、決して平均化してはいけません。

面接官用ワークシート（空白）

候補者がどのように関係者を集めたのかを尋ねてください。

面接前に雇用主が定義した1–5のルーブリックを使用して、各職務関連の回答を記録します。空白のセルは面接官用であり、Titanによって割り当てられたスコアではありません。

コンピテンシー	1	2	3	4	5	メモ
コミュニケーション	☐	☐	☐	☐	☐	_____
オーナーシップと責任	☐	☐	☐	☐	☐	_____
問題解決	☐	☐	☐	☐	☐	_____
コラボレーション	☐	☐	☐	☐	☐	_____
適応力	☐	☐	☐	☐	☐	_____

各独立評価の背後にある証拠

各回答について、観察可能な行動と関連する職務基準を記述します。空白の行はゼロではありません。生成されたレポートのスコアをコピーしたり平均したりしないでください。

コミュニケーション

観察した行動 _____

職務基準 _____

オーナーシップと責任

観察した行動 _____

職務基準 _____

問題解決

観察した行動 _____

職務基準 _____

コラボレーション

観察した行動 _____

職務基準 _____

適応力

観察した行動 _____

職務基準 _____

第4週: コラボレーションに関する進捗を確認してください。 第5週: 適応力に関する進捗を確認してください。 第6週: 問題解決に関する進捗を確認してください。

コンピテンシー	最初の30日間	60日以内	90日以内
コミュニケーション 25.00 · 観察 15	—	—	—
オーナーシップと責任 25.00 · 観察 15	—	—	—
問題解決 25.00 · 観察 15	—	—	—
コラボレーション 25.00 · 観察 15	—	—	—
適応力 25.00 · 観察 15	—	—	—

根拠に結びつけられた

コンピテンシー	記録されたスコア	エンジン90%バンド	観察数
コミュニケーション	25.00	25.0–25.0	15
オーナーシップと責任	25.00	25.0–25.0	15
問題解決	25.00	25.0–25.0	15
コラボレーション	25.00	25.0–25.0	15
適応力	25.00	25.0–25.0	15

再測定

90日後に同じコンピテンシーに対する新しいシナリオを再度実施すると、同じ尺度(0–100)で変化を比較できます。差異は記述的な情報であり、「実際の変化」の基準値は定義されていません。

マネージャーが行うこと

· コミュニケーション: このエクスポートに記録された管理者行動指示はありません。

強みを活用

· コミュニケーション: このエクスポートに記録された強み活用指示はありません。
· オーナーシップと責任: このエクスポートに記録された強み活用指示はありません。

チェックポイント

· 30/60/90日目: このエクスポートに記録されたチェック項目はありません。

90日間の再測定メモ

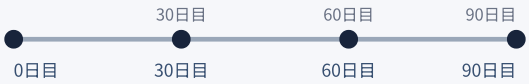
コンピテンシー	現在	再受験時
コミュニケーション	25.00	同じ0–100尺度での比較
オーナーシップと責任	25.00	同じ0–100尺度での比較
問題解決	25.00	同じ0–100尺度での比較
コラボレーション	25.00	同じ0–100尺度での比較
適応力	25.00	同じ0–100尺度での比較

証拠に基づく・判決ではありません

開発計画・30/60/90・続き

記録された記述スコアと90日間のタイムライン





開発計画・根拠 / 1

個別記述スコアのソース表: p. 27。以下の質問と作業チェックは別の草案であり、生成されたスコアに基づく選考や人員配置の決定ではありません。

記録された記述的コンピテンシースコア

コンピテンシー	記録されたスコア	エンジン90%バンド	観察数
コミュニケーション	25.00	25.0–25.0	15
オーナーシップと責任	25.00	25.0–25.0	15
問題解決	25.00	25.0–25.0	15
コラボレーション	25.00	25.0–25.0	15
適応力	25.00	25.0–25.0	15

証拠に基づく・判決ではありません

開発計画・根拠・続き

開発と再測定のゲート

候補者がどのように仮定を文書化したのかを確認してください。

この生成されたケースは、職務遂行や90日間の改善を確立することはできません。
後にマネージャーが計画に同意した場合は、この生成された評価を基準として使用するのではなく、
実際の決定とチェックインを記録してください。

後の再テストには、意味のある変化を主張する前に、校正された測定、マッチしたアイテムバンク、
および人間による評価の根拠が必要です。

30日目	マネージャーと実際の優先順位決定を確認します。
60日目	実際の作業におけるデータ対フィールドの決定を確認します。
90日目	作業の根拠を別々に評価し、生成された90%帯域を比較しないでください。

選択オプション 管理者業務確認 / 2

採用後とマネージャーの合意の後のみ。これらの生成された回答は、開発の必要性や従業員の行動を確立するものではありません。

回答では、候補者は顧客の根本課題を分析し、週次レポートで必要の八割が解決できると分かったと述べています。

選択確認であり自動割り当てではありません

第4週: コラボレーションに関する進捗を確認してください。 第5週: 適応力に関する進捗を確認してください。 第6週: 問題解決に関する進捗を確認してください。

生成されたスコアと90%バンド

この区間は生成適応型モデルの90%区間であり、採用基準線や変化検出ルールではありません。

コンピテンシー	観察	記述型スコア /100	90%区間 /100
コミュニケーション	15	25.00	25.00–25.00
オーナーシップと責任	15	25.00	25.00–25.00
問題解決	15	25.00	25.00–25.00
コラボレーション	15	25.00	25.00–25.00
適応力	15	25.00	25.00–25.00

これらは表示専用の生成値として扱ってください。再テスト時には、マッチした項目と人間による評価のキャリブレーションとカバレッジを使用し、独立して検証された方法で変化を分析してください。

証拠に基づく・判決ではありません

検証されたコホート比較が記録されていません。以下のスコアはこの候補者の記録です。

同じキャンペーン内の他者と比較

コホート資料なし - この候補者の値のみを表示します。この実行にはコホート比較データがありません。

検証されたコホートの出典が記録されていないため、比較チャートを描いていません。

測定に関する注意

- 採点: 自由回答とフォローアップ回答をコンピテンシー基準表で採点し、曖昧な場合のみ選択確認を追加します。
- 尺度: コンピテンシー別の効果性を0–100に換算; 記述型スコアであり、区間はありません。
- 根拠に基づく: コンピテンシー別の観察回数は根拠追跡に表示されます。合格/不合格ではありません。
- 限界: 会話は実際の行動ではなく「どうするか」という判断です。面接とレファレンスで確認してください。

証拠の追跡

シナリオ・終了	26件中 25件・0.30 SE目標達成時に中断
最終推定値・SE	-0.00・0.241 (0.30目標充足)
観察2未満のコンピテンシー	0
機械採点代替	このエクスポートに記録されていません

キャンペーン内のコンピテンシーによる位置

コンピテンシー	スコア	コホート中央値	中央50%
コミュニケーション	**25.00**	—	—
オーナーシップと責任	**25.00**	—	—
問題解決	**25.00**	—	—
コラボレーション	**25.00**	—	—
適応力	**25.00**	—	—

各コンピテンシー内の位置であり、全体の順位ではありません。検証されたコホートがないため、コホート列は空白です。

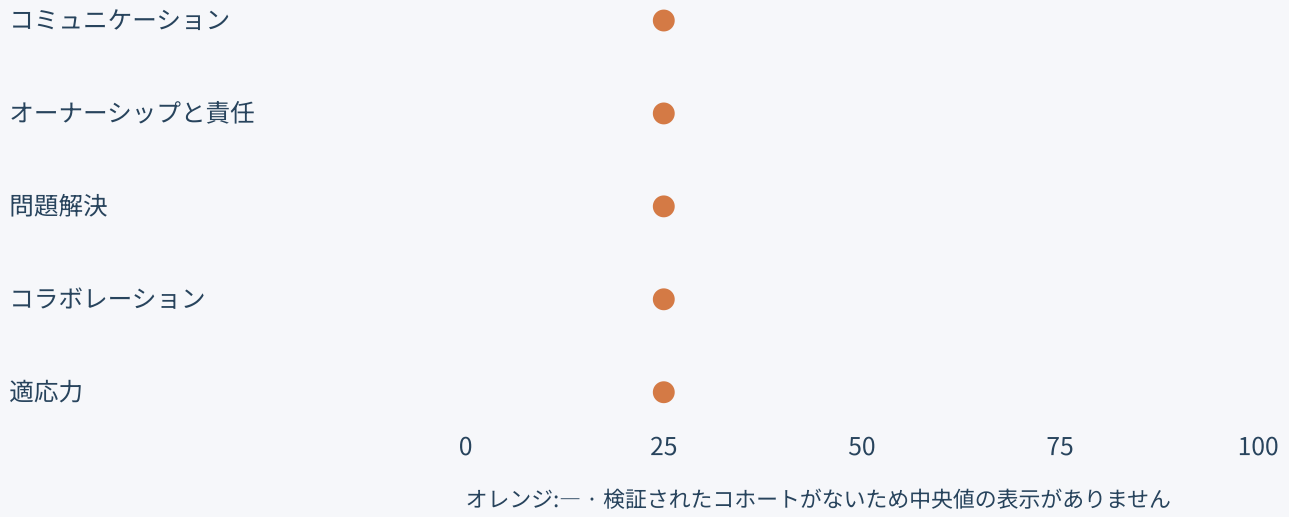
根拠の量・候補者対完了者

コンピテンシー	観察（本人）	観察 (すべての完了者)	後続（本人）	後続平均
コミュニケーション	15	—	12	—
オーナーシップと責任	15	—	15	—
問題解決	15	—	15	—
コラボレーション	15	—	15	—
適応力	15	—	15	—

キャンペーン比較 / 1

記録された記述スコア：全コンピテンシー 25.00（同点）

この候補者対コホート中央値・記述型0–100



オレンジ:— · 検証されたコホートがないため中央値の表示がありません

検証されたコホートの出典が記録されていないため、中央値と比較数を表示しません。スコアはこの候補者の記録です。

各ポジションの背後にある根拠の量

検証済みコホートがないため「低い / 同点」数は空欄です。観察と後続質問の数はこの候補者の記録です。

コンピテンシー	スコア	コホート中央値	観察	後続質問	低い / 同点
コミュニケーション	25.00	—	15	12	—
オーナーシップと責任	25.00	—	15	15	—
問題解決	25.00	—	15	15	—
コラボレーション	25.00	—	15	15	—
適応力	25.00	—	15	15	—

測定および根拠追跡 / 2

生成された適応型実行であり、プロダクションスコアAPIではありません。根拠のグレード、言語/期間の主張、または調整されたコンピテンシー区間は、他の場所に示されている生成された90%バンドを超えて発行されません。

生成された適応型トレース

シナリオ完了	シナリオ26件中 25個実施; 0.30 SE目標が達成され中断
全体θ EAP / 測定誤差SE	-0.000 / 0.241; SE目標0.30 満たす
回答が2つ未満のコンピテンシー	0: 記録なし
生成された後続質問 / 選択確認	72 / 0; どの回数もコンピテンシーを測定しません
根拠の等級	未付与; 前のラベルや代替パーセンテージは引き継がれません
回答テキスト	この雇用主用証明本では提供されません; 制限アクセスにはテナント専用の承認が必要です

根拠の量、能力ではありません

コミュニケーション	観察15, 後続質問 12 · コホート: —
オーナーシップと責任	観察15, 後続質問 15 · コホート: —
問題解決	観察15, 後続質問 15 · コホート: —
コラボレーション	観察15, 後続質問 15 · コホート: —
適応力	観察15, 後続質問 15 · コホート: —

読書ガイド: 最初の表はこの1回の生成された実行の適応型トレースを示し、2番目の表は観察とプローブを数えます。これらは能力ではなく根拠の量を示します。

実施された各シナリオが全体不確実性に与えた変化

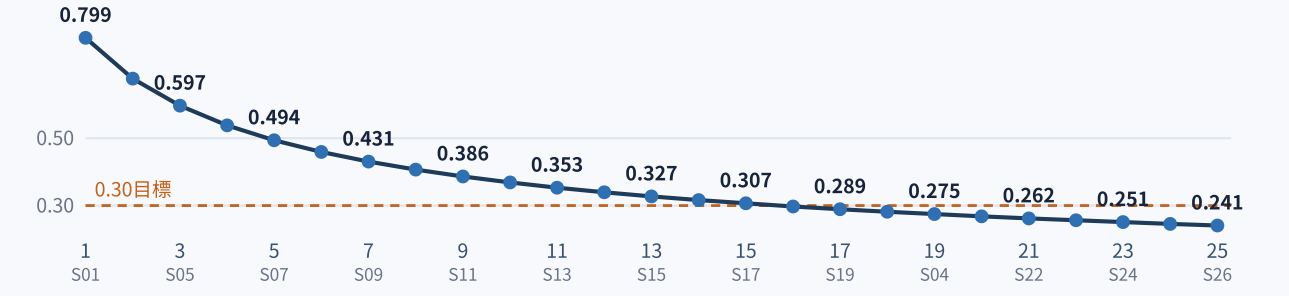
この進行でエンジンが実施したシナリオ25件に対する全体のθ測定誤差SEです。段階ごとの差は、設問選択による利得でも、較正されたコンピテンシー水準の不確実性でもありません。

順序	シナリオ	コンピテンシー	全体SE	以前と比較して減少
1	S01	適応力	0.799	—
2	S03	コラボレーション	0.678	+0.121
3	S05	コミュニケーション	0.597	+0.081
4	S06	問題解決	0.539	+0.058
5	S07	問題解決	0.494	+0.044
6	S08	オーナーシップと責任	0.459	+0.035
7	S09	コミュニケーション	0.431	+0.029
8	S10	コラボレーション	0.407	+0.024
9	S11	オーナーシップと責任	0.386	+0.020

10–25行は次のページで続きます。

13シナリオ後SEは0.327, 25番目の後0.241でした。0.30目標が充足されて 27個シナリオ上限前に中断しました。

各シナリオ実施後の全体SE



読み方。線は各段階後の全体θの標準誤差SEで、上の表と同じ値です。点線は 0.30 中断目標として ステップ16(0.298)で初めて到達しました. 段階間の差異は、問項選択の利益やコンピテンシー水準の不確実性ではありません。

証拠に基づく・判決ではありません

実施した各シナリオによる全体の不確実性の変化・続き

順序	シナリオ	コンピテンシー	全体SE	以前と比較して減少
10	S12	適応力	0.369	+0.018
11	S13	コミュニケーション	0.353	+0.015
12	S14	適応力	0.340	+0.014
13	S15	コラボレーション	0.327	+0.012
14	S16	問題解決	0.316	+0.011
15	S17	オーナーシップと責任	0.307	+0.010
16	S18	オーナーシップと責任	0.298	+0.009
17	S19	コミュニケーション	0.289	+0.008
18	S20	適応力	0.282	+0.008
19	S04	コラボレーション	0.275	+0.007
20	S21	問題解決	0.268	+0.007
21	S22	問題解決	0.262	+0.006
22	S23	オーナーシップと責任	0.256	+0.006
23	S24	コラボレーション	0.251	+0.005
24	S25	適応力	0.246	+0.005
25	S26	コミュニケーション	0.241	+0.005